岩田書院

地方史情報 102

2011年3月

身延山信仰の形成と伝播

望月 真澄

本書の研究テーマは、身延山信仰の形成過程とその伝播の状況を明らかにすることにある。身延山久遠寺が法華信仰の根本霊場として成立し、展開していく過程の中で、身延山内や各地に伝わる信仰関係資料を分析することにより、身延山信仰の形態と信仰の拡がりについて論じていくものである。その検討素材として、「霊場（寺院・霊跡）」・「道（参詣道）」・「人（僧侶・信徒）」をキーワードに身延山信仰の構造について解明していくことにしたい。

（概念図・略）

身延山は、一般の法華寺院と違って日蓮の廟所があることもあり、現在の宗教法人日蓮宗のみならず、日蓮を信奉する多くの人々が登詣し、祈りを捧げる。いわゆる現在の法華宗各派をはじめ、法華系新興教団が積極的に身延山に登詣するのである。従来の研究方法では、教団特有のセクト的傾向によって各法華教団内に伝わる資料分析が中心になってしまい、制約された研究成果に終始している傾向にある。しかしながら、これからは日蓮宗・法華宗・法華系新興教団といった枠を取り払い、日蓮の教えを受け継ぐ法華教団として包括し、法華信徒としての信仰形態を捉えてみる必要がある。日蓮宗に所属する筆者にとっては、当然のことながら日蓮宗関係の資料が分析の中心となるが、法華系教団全体の動向も併せて考えてみることにしたい。

そこで、日蓮宗という宗派の中において研究する場合にも、各法華教団の動向に着目し、広い範疇の中から法華信仰を検討していくことが肝要となろう。何故かというと、明治時代以前の法華信徒が現在の日蓮宗、法華宗といった宗派意識に影響を受けることなく題目信仰を貫いている場合が多くみられるからである。これを解明するには、日蓮の提唱した題目「南無妙法蓮華経」の功徳を、庶民がどのように受けとめ、信仰表現していったかがキーポイントとなる。

（望月真澄著『身延山信仰の形成と伝播』、2011.1、小社刊「序章」より）

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆屯 田　北海道屯田倶楽部
〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
℡011-761-8014　1985年創刊
◇48　2010.10　B5　71p　1000円
巻頭言　屯田兵と北海道農業—歴史は屯田兵によって築かれた　寺本　忠孝
兵村だより　琴似屯田兵村(前)
屯田兵グラフィティ　永峰　貴
カルチャーナイト2010　歴史講演会　おばあちゃんから聞いたこと　講師・吉田益子氏
屯田兵の子孫たちのこだわり—なぜ子孫会か　後藤　良二
西南戦争ゆかりの地巡りの旅　第二弾　旅日記　山口　昌二
屯田兵村開村記念式典
2010年屯田兵入植地を訪ねて(1)　中神　哲二
雨竜屯田からのレポート　第41回拓魂祭開催　事務局
屯田兵村公有地財産をめぐって(6)　士別兵村最終処分で大もめ　河野　民雄
開拓魂／「屯田」の語源
屯田兵列伝(3)　広島県出身秩父屯田兵二世　文化財保護に努める　中間光雄さん　92歳　若林　滋
亀山社中・海援隊の隊士だった大山重—開拓使官僚・屯田兵准大佐の意外な過去　奥田　静夫
編集部からの会員の著書紹介
『さらば‥えぞ地　松本十郎伝』奥田静夫著
平成22年度北海道屯田倶楽部定期総会報告

◆文化情報　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇322　2010.11　B4　4p
道文化財保護功労賞を贈呈　個人運上光彦／団体　栗山親子獅子舞、上富良野町郷土をさぐる会、永山郷土資料収集懇話会
常任委員会及び役員会／「北海道文化賞」等受賞者決定
文化財講演会(抄録)　有島武郎・波多野秋子の最期の書簡から　平原　一良
奥尻のワイン　舟山　廣治
第3回北海道文化財保護強調月間始まる
世界文化遺産への登録をめざして(2)—史跡入江・高砂貝塚　北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課
道内文化財散歩—小樽の歴史的建造物を歩く　平成22年9月4日　R・E
子どもの文化財愛護活動推進事業(栗山町)—栗山の縄文世界　吉川　道也
地域の団体活動
ＮＰＯ法人旧小熊邸倶楽部の活動　東田　秀美
札幌歴史懇話会の活動—古文書解読と歴史を学ぶ　森　勇三
読者の声／会員の書籍紹介

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1
℡0152-45-3888　hoppohm.org
◇78　2010.9　A4　6p
第25特別展「トナカイのパーカとアザラシのブーツ：北方の衣文化をさぐる」　齋藤　玲子
北海道博物館協会50周年記念事業
アイヌ文化講演会「樹皮糸でストラップづくり」　齋藤　玲子
調査・研究「サハリン少数民族ウィルタの文化調査」　笹倉いる美
北海道博物館協会50周年記念事業
北海道博物館紀行　紋別市立博物館オホーツク式土器づくり講師・小番宗幸氏　渡部　裕
移動展示　イヌイトの壁掛けと楽しい玩具　石狩市民図書館　笹倉いる美

◆室蘭地方史研究会会報
〒050-0077北海道室蘭市天神町31-2
井口利夫方　℡0143-46-3440
◇1　2010.2　B5　4p
「例会」スタート／「活動センターミュージアム2009」に参加
「活動センターミュージアム2009」—紙上展
室蘭文化連盟新年会「余興」を担当
◇2　2010.5　B5　4p
平成22年度総会報告
例会報告
本輪西は「続縄文」の古里?!
「会報」発行　「室蘭民報」に掲載／会員からのおたより
◇3　2010.11　B5　4p
秋の胆振、歴史をめぐる旅／活センミュージアム2010に参加
例会報告　室蘭岳の記念碑
新聞から拾った会員の話題／会員からのおしらせ／古地図パネル展開催

◆茂呂瀾　室蘭地方史研究
室蘭地方史研究会
〒050-0077北海道室蘭市天神町31-2
井口利夫方　℡0143-46-3440
◇44　2010.2　A5　138p　1000円
巻頭言　時の動き、故郷の変化の中で　駒木　佐助
「室蘭地方史研究会」の誕生と活動　福田　隆三
福田隆三氏の生涯研究
明治天皇が橿原神宮へ御奉納の太刀　青木　伸剛
「丸井さん」のあゆみ—「室蘭街道」をゆく(2)　久末　進一
丸井今井室蘭店のあゆみ　太田　篤司
1972年室蘭新道工事人骨発掘事件　上野　志郎
文化3年～6年　ヱモト場所を通った人々　井口　利夫
戊辰戦争と室蘭南部陣屋—時系列から検証する　小田島　洋
祝津遺跡出土の骨角製銛頭について　松田　宏介
日本製鋼所の高品質鋼塊製造技術導入について(下)　駒木　佐助
室蘭地方史研究会五十年間の事業
吾が友・松山照君を偲んで　本野　里志
鈴木孝範さんを偲んで　駒木　佐助
「『事業場報告』が記録した中国人強制連行」について
室蘭民報が募集した「平成二十一年西胆振の十大ニュース」
十年一昔・十年ごとに室蘭の出来

事を顧みる
受賞者紹介／平成二十一年事業報告／息づく文化・芸術(5)　室蘭地方史研究会　室蘭民報記事

◆八戸地域史　八戸歴史研究会
〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19
三浦忠司方　TEL0178-38-7376　1982年創刊
◇47　2010.10　A5　60p　800円
口絵　「自然真営道」第二十五巻（真道哲論）表紙
安藤昌益宗門改帳と八戸の商人　大岡　達夫
東洋捕鯨会社鮫事業所焼打事件始末記—焼尽のはてに　田名部清一
八戸藩武家の結婚・離婚などの家族関係—遠山家日記を通して　三浦　忠司
みじか史　八戸藩士の湯治　中野渡一耕
書　評
『大野村誌第二巻　史料編Ⅰ』　菊池　勇夫

◆いわて文化財　岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内　TEL019-661-9688
◇240　2010.11　B5　8p
県文化芸術振興指針の臨時評価　船越　昭治
「平泉」再チャレンジの取り組み　千葉　信胤
世界遺産登録のもう一つの意義　安藤　厚
二戸市のうるし振興　中村　裕
想像力の衰退と歴史理解　勝部　民男
平泉遺跡群の現状　本澤　慎輔
続平泉志(4)
高舘、金鶏山、弁慶堂跡　及川　和哉
県民俗芸能大会　12月、久慈市で開催／気仙の歴史に誇りと自信／綱吉政権を検証

◆仙臺文化　『仙臺文化』編集室
〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6
渡邊慎也方　TEL022-249-6530　2005年創刊
◇11　2010.11　A4　24p　700円
《特集　仙台生まれの教科書》
表紙の物語(11)　郷土の偉人を掛図で讃える　三好清篤の「修身圖鑒」
仙臺人追慕(11)　宮城県下随一の教師　若生精一郎
実践の証　熱血教師たちの教科書・教授法　渡邊　慎也
私の教科書ものがたり　伊勢　民夫
郷土を語り自校を讃える教科書のいろいろ
明治前期・仙台生まれの教科書（教科書、掛図を含む）　渡邊　慎也
「宮城縣郷土讀本」で見る仙台の誇り“青柳文庫”
昭和3年 祖父母たちの学んだ木造校舎 「仙臺市立學校教育市班」から
松川達磨—その豊かな世界　庄子　晃子
東京便り(11)
豊穣な磁場「仙臺文化」　服部　夕紀
「仙臺文化」発刊同人紹介／バックナンバー内容一覧
仙台のお菓子(11)　喜ばれる異国風の味　ふじや千舟の“支倉焼”

◆鷹巣地方史研究　鷹巣地方史研究会
〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2
河田正治方　TEL0186-62-0242
年2000円　1977年創刊
◇66　2010.11　A4　74p　1000円
伊勢堂岱環状列石から見る縄文社会—環状列石の配石の違いは共同体の変遷の姿か—環状列石Cの楕円から想像　伊藤　武
江戸時代「むら」の生いたちと組織　岩谷　利男
白髭水・田代山・アメッコ市のこと　日景　健
秋田のまほろば北秋田　澤田　昌治
地方史の手帳　七座昔語り　桜田　俊
総会講演　文人・建部綾足と比内　佐藤　俊晃
歴史教室
鷹巣地内の太平山を歩いて　佐藤喜美男
鷹巣村草創期の恩人たち　永井　高道
現地研修
小猿部地区お寺巡り特集
高昌山龍泉寺　成田　稔
高昌山龍泉寺の開山と復興まで　清水　修智
小森のお寺　繁蔭山森昌寺　孔雀明王像見学記　岩谷　利男
天昌寺を見学して　照内　捷二
昭和化学工場・珪藻土採掘現場探訪　澤田　昌治
随　想
素朴な豊さ　津谷　憲生
ししりこのむかしっこ(2)　三澤　昭彦
鷹巣町の思い出　北嶋　洋子
ひろば
九嶋悦郎校長の偉業を讃える　成田　節治
中嶋千代吉氏と秋田県農業改良普及事業のあゆみ　小塚　嘉七
生きていた方言　桜田　俊

◆季刊東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター（発売：柏書房）　〒990-9530山形市上桜田3-4-5　TEL023-627-2168　年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇25　2010.11　A5　189p　2000円
《特集　宮崎俊の世界》
もう一つの「えびす」の物語『崖の上のポニョ』論—「幸」とは何かを問う視点　村瀬　学
『耳をすませば』と「リア充」　田中　秀臣
宮崎駿、六十年目の邂逅—『借りぐらしのアリエッティ』の仕事から　切通　理作
宮崎アニメと「アニミズム」　正木　晃
「トトロの森」「ポニョの崖」から「Aさんの庭園」へ—私の心に芽生えた「象徴」界から「現実」界への小さな揺らぎ　小山　昌宏
歩行への夢想—『崖の上のポニョ』と『門』『リトル・マーメイド』　米村みゆき
もののけ姫と歴史学　入間田宣夫
宮崎駿の縄紋幻想—照葉樹林文化としての縄紋文化　安斎　正人
島からのことづて(1)　五百三十年前の記憶を生きる—済州島民と与那国島民の交流　安渓貴子／安渓遊地
民俗学の眼(7)　灰小屋—景物からの民俗遡及(3)　野本　寛一
済州島の民俗(25)　粟作について—生業民俗論(18)　高　光敏
東シナ海の古層(5)　遠島人の狂気—〈平島放送記録〉を読む(5)　稲垣　尚友
アジアの風のなかで(5)
生と死を見守る布　木村　文
モノから見る韓国(10)　チョルグ　李　恵燕
絵はがきに見る東北・日本・アジア(8)　上海の風俗と歴史　東北文化研究センター
未来への可能性としての共同体論（書評）　今石みぎわ
鉄砲を手にした百姓の姿から見える政治・環境問題（書評）　中村　只吾
連載・写真曼荼羅(8)　新鋭篇(2)

秋田県角館　草彅裕／内藤正敏

◆南陽の歴史　南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方　℡0238-43-5299
◇179　2010.10　B5　10p
熊熊大社の保呂羽神社と色部氏　須崎　寛二
直江兼続とその時代
—学習会第201回記念講演会　須崎　寛二
役頭木村六右衛門に関する史料　須崎　寛二
「キリシタン『池黒村美濃』の痕跡
を尋ねて」の補訂　須崎　寛二
犬は吠えるもの？　須崎　寛二
池黒村に肝煎りが2人いた？　須崎　寛二
◇180　2010.11　B5　10p
宮内熊野神社史覚書(1)　尾崎重
誉、熊野八幡宮に御供田を寄進
／熊野大社お御坂の修復　須崎　寛二
南陽の人が見た明治天皇の米沢行
幸　須崎　寛二
会津若松市のキリシタン塚　須崎　寛二
南陽の青苧栽培と青苧一揆
—第202回学習会から
平成22年会報総目次

◆まんだら　東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇45　2010.11　B5　64p
《特集　宮崎駿アニメを読む》
芸術学部歴史遺産学科オープンキ
ャンパス企画　『千と千尋の神
隠し』と民俗学・歴史学・考古
学　入間田宣夫／安斎正人／田口洋美
宮崎駿作品の魅力を語る　赤坂　憲雄
なぜ、今、ジブリなのか？
—新しさの中に眠る過去　田口　洋美
東北芸術工科大学オープンキャン
パス2010・芸術学部歴史遺産学
科模擬授業　その時、東北の歴
史が動いた—直江兼続の決断、
伊達政宗の決断　松平定知／藤本正行／
入間田宣夫／田口洋美
新連載　古文書解読405号室　中村　只吾
寄稿　置賜の箒作り　守谷　英一
学生たちのフィールドレポート(5)
『秋山紀行』を歩く　阿部さやか
古文書と現代のつながり　小西　洋平
飛島蕨山遺跡の発掘調査　上田　優喜
池上冬樹の東北文学雑感(5)　戦
争協力と山形の文化人—結城哀
草果と真壁仁　池上　冬樹
地域へ—新しい波を訪ねる(5)
文化の固有性に寄って—秋田県
「横手市増田まんが美術館」を
訪ねて　森　繁哉
考古学者が映画を観ると(5)
クニのはじまり　安斎　正人
リレーエッセイ「東北を撮る」(3)
映画『よみがえりのレシピ』を
撮影しながら考えたこと　渡辺　智史
特派員レポート(5)　好奇心解放　井筒　桃子
地域誌だより(18)
弘前城築城400年「時の伝言」　杉山　陸子
佐々木喜善と仙台　滝沢真喜子
『仙台藩士幕末世界一周』刊行　千葉　由香
コガヤ(カリヤス)に学ぶ　菅家　博昭
表紙を飾るアーティストたち
草彅裕　内藤　正敏

◆山形民俗　山形県民俗研究協議会
〒990-0826山形市霞城町1-8　山形県立博物
館　秋葉正任気付　1987年創刊
◇24　2010.11　A5　96p　900円
近世・山形県最上地方における救
荒食—素材と調理法　大友　義助
山形県内の雨乞い習俗の諸相
—資料分析を中心にして　村田　弘
羽黒山五重塔小考　岩鼻　通明
「善光寺縁起」と王祇神—王祇神
を構成する「飛鳥」「熊野」「伊
勢」　大江　良松
小正月の火祭り行事とその解釈を
めぐって　菊地　和博
堂築節(どんづきぶし)という唄—
上山市（旧、南村山郡西郷村小
穴)の伝承から　加藤　和徳
天保国絵図取調一件　市村　幸夫
天明鋳物師名のある「阿弥陀如来
坐像」を巡って　野口　一雄
女性飛行士 本登勝代と庄内のさ
きがけ達　島田　良彦
県内の主な民俗関係出版物
山形県民俗研究協議会関連記事

◆米沢史学　米沢史学会
〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1
山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
℡0238-22-7330
◇26　2010.10　B5　226p
講　演
日向高鍋藩主秋月種茂とその時
代　大賀　郁夫
藩政改革の思想
—上杉鷹山と米沢藩　小関悠一郎
戦国・織豊期の会津の漆と蝋燭　高橋　充
慈恩寺から金剛日寺へ—近世初期
における村山葉山の修験集団を
めぐって　関口　健
近世後期における東北地方窯業の
同形態製品を受容する市場領域
について—上三宮焼窯跡表土採
取陶片の分析から　高橋　拓
「東北」への道　河西　英通
17世紀に来日した英国人の日本体
験記録—ウィリアムアダムズと
リチャードコックス　阿部　隆夫
同郷会と育英事業—村山会と村山
同郷会の事例から　布施　賢治
備中国の名主座について　薗部　寿樹
山形県村山地方のムサカリ絵馬に
ついて—「独特な習俗」観への
疑問　志賀　祐紀
新刊紹介　木村博・加藤和徳・市
村幸夫著『信州石工　出羽路旅
稼ぎ記』　関口　健
2009年度卒業研究要旨／受贈図書
一覧／2010年度開講科目一覧

◆福島県史料情報　㈶福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54　℡024-534-
9193　www.history-archives.fks.ed.jp
◇28　2010.10　A4　4p
『里見八犬伝 第二輯 巻二』（鈴木
重治家文書287-2号）　江戸時代
後期の大衆小説『里見八犬伝』小暮　伸之
「松川合戦」論の問題(2)　本間　宏
檜枝岐村絵図について(4)　山内　幹夫
岩越鉄道開通と岩崎弥之助　渡邉　智裕
地域史研究会活動情報
伊達市保原町文化財保存会
福島県歴史資料館
平成22年度後半の行事予定

関　東

◆茨城の民俗　茨城民俗学会
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16
今瀬文也方　℡029-231-4665　年3000円
1963年創刊　www.minzoku.net
◇49　2010.11　B5　90p

《特集　衣・火》
茨城の衣と火の民俗　今瀬　文也
鉄と焼き物　斉藤　重
茨城県の新盆参り　石本　敏也
かすみがうら市の若者組について　清水　亨桐
東金砂田楽の創出　河野　弘
途絶えた日立の大助人形　大森　政美
二十一世紀初頭にっぽんの食卓　松崎健一郎
最近の世相と民俗学　堀切　武
研究ノート　へいさんぼう
会のあゆみ

◆**近代史料研究**　日本近代史研究会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学歴史人類学系　中野目研究室内
℡029-853-4066　2001年創刊
◇**10**　2010.10　A5　105p
府県制下における行政改革と公文書管理—明治45年の福島県を事例として　山田　英明
加藤弘之『人権新説』の再検討　田中友香理
安倍能成関係史料の全体像(下)—愛媛県生涯学習センター所蔵史料を中心として　青木　一平
鈴木虎雄の新聞『日本』入社—「鈴木虎雄関係史料」の紹介を兼ねて　中野目　徹
日本近代史研究会のあゆみ(第1回～第48回)
『近代史料研究』総目次（第1号～第10号）

◆**水戸史学**　水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方　℡029-243-6910　1974年創刊
◇**73**　2010.11　A5　132p
蝿帽子峠を越えた水戸浪士たち　廣瀬　重見
水戸天狗党(田中隊)、八溝山麓に散る　飯村　尋道
『大日本史』将軍伝の構成について　梶山　孝夫
水戸史学に於ける安康・雄略天皇御事績の研究　堀井　純二
楓巷余韻　水戸気風論　名越　時正
史料紹介
弘道館記の成立と烈公の苦心　宮田　正彦
義公の足跡を訪ねて(20)　住谷　光一
会　報　但野　正弘

◆**歴文だより**　栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内　℡028-634-1313
◇**77**　2010.10　A4　4p
眞保昌弘氏報告「那須直韋提—那須の遺跡から国造碑建立を読む—」を聞いて　鏑木　理広
橋本慎司氏報告「偉大なる無名画人　小泉斐の画業」を聞いて　小林　聖夫
石川明範氏報告「鈴木要三と近代製麻工業」を聞いて　鈴木　挙
古文書・古典籍を読む(16)　足利直義軍勢催促状（栃木県立博物館所蔵）　江田　郁夫
新刊紹介　新井敦史著『武士と大名の古文書入門』　阿部　能久

◆**ぐんま地域文化**　(財)群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内　℡027-221-2346
◇**35**　2010.11　B5　32p
《旧白沢・川場村地域特集》
歴史を掘る　上白井西伊熊遺跡出土　瀬戸内技法の旧石器　大西　雅広
国宝・重文の洛中洛外図屏風を、群馬で展示する　黒田日出男
発掘情報　川場村生品の遺跡—生品西浦遺跡・西川原古墳群の発掘調査から　神谷　佳明
図録　ぐんまの文化財　利根の名刹「吉祥寺」　藤井茂樹／諸田義行
ぐんまの歴史入門講座
第115講　地名と文化財　水田　稔
第116講　川場･白浜と大友氏時　諸田　義行
第117講　沼田藩農民の訴願行動—「お助け縄」を語り継いだ精神　藤井　茂樹
第118講　しらさわ(白沢)の近代史点描　手島　仁
第119講　川場村・旧白沢村地区の石造文化財　石造文化財の見方(24)　秋池　武
古文書解読入門講座(22)—古文書から歴史を読む　真田氏改易直後の幕府目付宛訴状—上川場村が差し出した救済願い　藤井　茂樹
地域づくりと文化遺産　村制120周年「川場かるた」の発行　角田　貫
ぐんまのくらしと民俗
生品の座敷箒　千木良敬一郎
ぐんまの川と生活　川場村　澤口　宏
ぐんまの人物誌　増田金作—政友会の闘将政治家　手島　仁
ぐんまの郷土芸能　平出歌舞伎　小野信太郎
研究・学習サークル活動紹介
根っこの会　角田　清
出版情報　沼田市白沢町刊行物の紹介／川場村刊行物の紹介
ぐんまの自然と風土
破壊的噴火の残した流れ山　久保　誠二

◆**群馬文化**　群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内　℡027-221-2346
年4000円　1957年創刊
members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/
◇**304**　2010.10　A5　80p
黒龍中西遺跡の古代寺院遺構—丘陵上に営まれた大規模寺院跡の基礎的検証　須田　茂
近世初頭における上野館林城下の整備について—佐野街道と旧矢場川を視点に　飯森　康広
群馬県の名勝天然記念物—保存管理の現状と課題　青木　央子
碓氷関所保存会の活動—シンポジウム「碓氷関所の歴史と現在」後援を中心として　佐藤　健一
文化財レポート
太田市間之原遺跡調査速報　杉山　秀宏
博物館・美術館めぐり
宋胡録美術館へ……。
随　想
大規模開発に伴う埋蔵文化財発行政との二人三脚　神保　侑史
墓石は消える　中村　茂
新刊紹介
手島仁著『群馬学とは』　石原　征明
館林市史編さん委員会編『館林市史』特別編第4巻『館林城と中近世の遺跡』　清水　豊

◆**群馬歴史散歩**　群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
℡027-223-2785　年4500円
◇**216**　2010.10　A5　56p
《特集　中之条町(旧中之条町・六合村)》
新中之条町の誕生まで　唐澤　定市
懐かしの森林鉄道　下谷　昌幸
市域の渡船場　中澤　恒夫
牧水の『みなかみ紀行』の旅　中澤　久吉

中之条町の歴史の道散歩　田村　正勝
永徳齋作有職雛一式と「ひなまつり展」　福田　義治
大正天皇御生母の歌碑　永田　勝治
絵手紙で歩く　上毛かるた(36)　小林　生子
れきさんサロン　大崎岸子／平田經子
高山彦九郎日記による歴史散歩(23)『丁酉春旅』(3)　八王子宿～勝沼宿　正田　喜久
『新編高崎市史』頒布のお知らせ
ポッペンの出土　小山　宏
中国の歴史散歩(9)　九寨溝・黄龍・峨眉山・薬山・三星堆
蜀犬、日に吠える—世界遺産峨眉山　田所　穂積
九寨溝から楽山大仏　相京　克彦
三星堆遺跡　長谷川寛見
支部だより
歴史散歩の報告　山崎　正

◆上州文化　群馬県教育文化事業団
〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22
℡027-224-3960　1980年創刊
www.gunmabunkazigyodan.or.jp
◇124　2010.11　A4　14p
特集　世界に二つの縁切寺　資料館の建設と本堂等の復元—平成の満徳寺(1)　高木　侃
上野東歌探訪　北川　和秀
特殊洋画「絵ガラス」
ガラスに絵画を彫り描く　百川　良男
INFORMATION　群馬県教育文化事業団
カフェの隅から　赤いリボンの　竹田　朋子

◆郷土はとがや　鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方　℡048-281-3509　1977年創刊
◇66　2010.11　A5　111p　1000円
巻頭言　鳩ヶ谷のはっけよい事始め
第35回定例総会記念講演　地蔵院の不動明王と梵鐘から導き知る
鎌倉時代の鳩井郷の状勢　小室　雄充
二つの満蒙開拓青少年義勇隊員手記を読む　金井　英一
現代より後世へ伝え残したい人を訪ねて(3)『郷土はとがや』より生まれた17冊と　同時代史探訪書留部
鳩ヶ谷史譚(10)『埼玉県史料叢書』に鳩ヶ谷を探す　平野　整
芝川の流路について　若松　哲夫
鳩ヶ谷の生物(13)　知っているようで知らないスズメ　藤波不二雄
新刊紹介　半年間に届いた本から　神谷安久子／スモール.h.グテイ
史跡散策会参加記
里山の春を訪ねて　藤波不二雄
草加市歴史・民俗探訪の一日　米山　徹
埼玉が誇る「剣聖」山岡鉄舟と高野佐三郎　花岡　武司
小谷三志をめぐる人々(63)　山村西次郎・智光三功写本13冊　岡田　博

◆埼玉史談　埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5　大圖口承方
℡049-281-4983　年4000円
◇303（57-3）2010.10　A5　52p
記念講演要旨
武田氏研究の動向と課題　柴辻　俊六
秩父神社の棟札について(2)　栗原　一夫
美術番付に見る福島柳圃　奥田　豊
毛呂の流鏑馬の歴史を探る—全国流鏑馬サミットの開催を前にして　内野　勝裕
河越城代大道寺氏の研究(6)—史料編年でみるその実像　大圖　口承
大島有隣と小谷三志の相関(7)—心学と不二道と神道　岡田　博
資料紹介　川越藩鉚姫の短冊　佐藤　繁
歴史随想　名家と名将(1)　佐藤　源作
書誌紹介　鳩ヶ谷市民短歌会叢書第22集　富士山写真歌集　富士山累葉集
第615回　パルテノン多摩歴史ミュージアム見学
第616回　会員研究発表会

◆埼玉地方史　埼玉県地方史研究会
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
埼玉県立文書館内　℡048-865-0112
年3000円　1975年創刊
◇63　2010.4　A5　40p
江戸川開削に関する小流寺縁起と小嶋庄右衛門の考察　長堀　榮
長尾景仲の兄小五郎とその周辺　黒田　基樹
コラム・地方史の広場
伊奈忠次没後四百年をむかえるにあたって　清水　邦夫
埼玉における戦前のペスタロッチに関する文献紹介　石井　昇
新刊紹介　小澤正弘著『関東郡代伊奈氏の研究二』、西村敏也著『武州三峯山の歴史民俗学的研究』、田代脩著『武蔵武士と戦乱の時代—中世の北武蔵—』、黒田基樹著『図説　大田道灌』

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方　℡0495-71-4850　年4000円
◇32　2010.11　B5　8p
平成22年度総会／第3回見学会
富士山文献紹介　富士山写真歌集　富士山累葉集／会報『郷土はとがや』掲載論考　岡田博自選集Ⅱ／富士塚考 続／一個人 for WOMAN　開運！日本のパワースポット案内／富士山縁起の世界—赫夜姫・愛鷹・犬飼／『富士山道しるべ』を歩く 改
第4回見学会のお知らせ

◆史談八千代　八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野光男方　℡047-484-9728
年3000円　1976年創刊
◇35　2010.11　B5　132p
《特集　旧萱田村の総合研究(1)》
「旧萱田村の総合研究」序説　村田　一男
考古学から見た菅田地区概要—朝比奈竹男氏の特別講演記録から　朝比奈竹男
天保期の印旛沼堀割普請—沼津藩　菅野　貞男
「菅田村絵図」をめぐって　滝口　昭二
旧菅田村の石造物(1)　小菅俊雄／園田充一／鈴木登
「菅田の飯綱神社と飯綱信仰」の調査・報告
菅田飯綱神社のルーツ飯縄信仰を各地に訪ねて　蕨　由美
「飯綱大神」額を寄進した「鍋新」を追って　吉野静生／田村勲
研修旅行報告「飯縄信仰の源流と一茶の故郷を訪ねる」
第1日目　飯縄神社里宮から戸隠神社中社まで　田村　勲
第2日目　戸隠神社奥社から一茶記念館へ　三橋　俊一
飯縄神社の玉垣に施された「二十四孝」彫刻　目黒邦夫／鈴木康彦　藤本早苗／藤本凉輔
菅田山長福寺を訪ねる

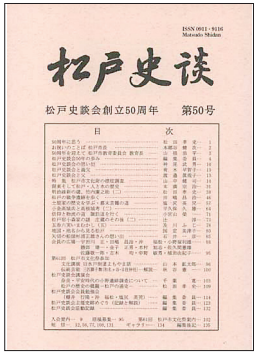
長福寺の紹介　佐久間弘文／石井尚子
虎列刺消除十一面尊永代日護摩
勧由簿　成田　忠志
六地蔵　鈴木　千代
筆子塚　斎藤　惇
二十三夜・日記念仏供養塔
佐久間弘文／中島和子
菅田の俳人たち　関和　時男
「勤労奉仕」とは何か　牧野　光男
特別寄稿　八千代市菅田・君塚家
での勤労奉仕　菱刈　隆永
町名地番整理実施・わかりやすい
街　佐藤　二郎
当研究会の活動記録・活動予定
巻末折り込み
『菅田村絵図』（清田勝家所蔵）

◆千葉史学　千葉歴史学会
〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33　千葉
大学文学部内　TEL043-251-1111　年4000円
history.l.chiba-u.jp/~chibareki/
◇57　2010.11　A5　106p
巻頭随想　千葉県文化財救済ネッ
トワークシステム構築　新　和宏
歴史随想
誕生寺石造三層塔について想う
早川　正司
本多作左衛門重次と「一筆啓上」
飯島　章
「メキシコ塔」と三度の出会い　古山　豊
武蔵吉良氏の歴史的位置—古河公
方足利氏、後北条氏との関係を
中心に　谷口　雄太
隈板内閣の成立と板倉中　上田　浄
19世紀前半ギリシアの啓蒙知識人
カイリスの教育活動—神の法に
もとづく共和主義的理想郷の追
求　松浦真衣子
大会講演
成田空港開港への背景と歩み　小川　国彦
書　評
澤登寛聡著『江戸時代自治文化
史論』　夏目　琢史
ひろたまさき著『差別からみる
日本の歴史』　福田　美波
大会報告　千葉歴史学会第29回総
会・大会報告

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方　TEL04-7196-3375　年3000円
◇108　2010.9　B5　8p
資料紹介1
小見川の石造物—北地区編
石造物を読む(4)
石仏たちの明治維新　米谷　博
資料紹介2　史談八千代　35号
特集　旧萱田村の総合研究その1
「酒々井町の双体道祖神を訪ねる」
に参加して　土井　照美
事務局からのご報告　さいたま市
の花見堂地蔵について　石田　年子

◆松戸史談　松戸史談会
〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20
松田孝史方　TEL047-342-1764
年5000円　1961年創刊
◇50　2010.11　B5　134p
《松戸史談会創立50周年》
50周年に思う　松田　孝史
お祝いのことば　本郷谷健次
50周年を迎えて　山根　恭平
松戸史談会50年の歩み　編集委員会
松戸史談会の思い出　神尾　武男
松戸史談会と義父　青木早智子
松戸史談会と父　渡邉眞規子

特集　松戸市文化財の標柱調査　山中　健司
関東そして松戸・人と水の歴史　末満　宗治
明治維新の礎、竹内廉之助(2)　松田　孝史
松戸の戦争遺跡を歩く　田嶋　昌治
土屋家の歴史を学ぶ・幕末苦難の
道　塩尻　英児
小金高城氏と高根城考(2)　平久保久雄
信仰と物流の道　諏訪道を行く　小宮山榮一
松戸宿小森家の謎　庄蔵のその後
(2)　辻　淳
五香六実いまむかし(5)　及川　ふじ
地図・地名から見る松戸　国定美津子
矢切の船頭杉浦正雄さんの想い出
石井　一彦
会員の広場
「園芸学校」の想い出　宇多川　正
松戸史談会に寄せる　田嶋　昌治
松戸史談会と私　沖　福松
身近に息づく千葉氏月辰の活法
整体　小野塚利雄
足るを知る　勝部　建一
郷土史への誘い　金子　正男
松戸と倉敷　木村　旭志
三匹獅子舞を見て　佐久間憲雄
元海軍兵学校教官との出会いと
史談会入会のきっかけ　佐藤敬一郎
松戸史談会について
—入会のきっかけ　古木　均
入会のきっかけ“海の日”に思
いつつ　中野　敏男
松戸史談会に寄せる思いをふり
かえって　植田由紀子
第61回松戸市文化祭参加
文化講演
旧水戸街道よもやま話　山本鉱太郎
伝統芸能　三匹獅子舞（和名ヶ
谷・日枝神社）　解説　秋谷　憲一
松戸史談会講演会
奈良・平安時代の小野遺跡調査
について　千葉　寛
松戸の歴史の概観—松戸の通史
松田　孝史
松戸史談会会員勉強会(要旨)
金石文の概要　塩尻　英児
『吾妻鏡』で遊ぼう　棚井　行隆
八ヶ崎の今昔(幻の八ヶ崎城)　沖　福松
松戸史談会主催史跡めぐり（記録
と解説）　編集委員
松戸史談会活動記録



＊昭和35年に設立された松戸史談会が50周年を迎え、会誌も50号となった。当時、『松戸市史』編纂に当たっていた上野顕義、田村実、松下邦夫、米田春之、稲本雨林氏らの発意によって発足した同会は、初め、会長などの役職も置かず、毎月例会をもって同好相集り、まさに史談や勉強会、見学会を行うことを特色としていた。昭和35年と言えば、日本中が60年安保に揺れていた年である。松戸市の人口は8万人余、常盤平団地の入居が開始され、急激に都市化に進み始めていた。現在は49万人を擁す大都市に発展し、地域の様相も一変した。会誌は初め「松戸史談会紀要」として創刊されたが、38年に現誌名に改題し、一年の遅滞もなく継続して半世紀の歴史を刻んできた。それだけに、本号に総目次の

掲載がなく、成果の経過を辿れないのは少々残念である。現在の会員数は80名。会員勉強会(年3回)ばかりでなく、年6回もの市民参加の史跡・文化財巡りの開催、市民対象の講演会、市内小中学校の史跡めぐりへの講師派遣など、地域密着型の活動を展開していることに敬意を表したい。

◆まつどミュージアム　松戸市立博物館
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
℡047-384-8181
www2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇19　2010.7　A4　4p
コレクション紹介　輿と天蓋
特集　学習資料室　昔のくらし探検　今年は体験型展示／常設展示室で新たな「発見」と「感動」を
五香六実のあけぼの　柏木　一朗

◆あしなか　山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル　℡03-5663-6748　年5000円
www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇290　2010.11　B5　22p
美和町渋谷の山鎮祭—周防岩国における山の神神事　小原　清
島根奥出雲の貝祭文
—祭文語り・浪曲師の系譜　小山　一成
江戸富士塚を巡る(2)
—音羽富士・十条富士　酒井　幸光
飛騨山村に祈りの原形を探る
—青木自由治氏の死を悼む　岡倉　捷郎
江戸川区の富士塚巡り
—平成22年秋・現地探索行事　宮崎　孝志

◆明日を拓く　東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
℡03-5603-1861　1993年創刊
◇85（36-5）2010.3　A5　121p　1000円
《特集　多文化・多言語化する日本社会と子どもたち》
「多文化共生」は失敗する？—特集「多文化・多言語化する日本社会と子どもたち」にあたって　井桁　碧
厳しいブラジル人学校の現状をめぐって　石田　貞
座談会　多文化・多言語化する日本社会と子どもたち　善元幸夫／岩田忠／伊藤進／角田仁／松浦利貞
講演　多文化共生の街・大久保の現在と未来—共に生活し生きる可能性を求めて　金　根　熙
インタビュー　共生の街をめざして—韓国広場代表　金根熙さん　編　集　部

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇513　2010.11　A4　4p
輸出玩具生産にみる地域産業
—多様な工場群　多田　文夫
亀有大谷田物語(7)
—昭和30年代の私　食(4)　伊藤　純
都市近郊の農産物を追う(34)
マコモのゴザ—盆の草市の商品(3)　萩原ちとせ
◇514　2010.12　A4　4p
門松売りのことなど(1)　薊　照夫
亀有大谷田物語(8)
—昭和30年代の私　食(4)　伊藤　純
千葉さなについて(後)　あさくらゆう
都市近郊の農産物を追う(35)
藁加工品—わらじ(1)　萩原ちとせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇272　2010.11　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本の教育(106)　新教育指針　第一部　後編　新日本教育の原点　第二章　公民教育の振興　堀川　和夫
足立区の登録文化財を観る　舎人諏訪神社本殿　一棟／紙本著色弘法大師修法図　一幅／荷馬の絵と句　一幅
足立史談カルタ紹介
「ほ」星兜出た應現寺
10月探訪報告　明治を拓いた人・渋沢栄一　その故郷深谷市を訪ねる
◇273　2010.12　A4　4p
平成22年炎天寺一茶まつり(第49回)　炎天寺全国小中学生俳句大会
コラム教育史料　終戦直後の日本の教育(107)　新教育指針　第一部　後編　新日本教育の原点　第二章　公民教育の振興　堀川　和夫
足立区の登録文化財を観る　紙本墨画富嶽図　一幅／絹本著色楓鹿図　一幅／絹本著色涅槃図　一面
足立史談カルタ紹介
「へ」蛇橋かかる綾瀬川
11月探訪報告　手賀沼眺望と湖畔の歴史　古墳群と白樺派作家の住居跡

◆板橋史談　板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
℡03-5398-2682
◇261　2010.11　A5　35p
越前大野城築城四三〇年祭に参加して　中村　正宏
成増の立教大学グラウンド　木村　榮作
「下頭六蔵菩薩」と頭山満　坂田　宏一
一枚の写真から(5)
おんぶで子育てした時代　泉　貞代
写真探訪　板橋の地名(13)
小松屋横町　大澤　鷹邇
史跡を訪ねて(17)
近県の古民家を巡る(終)　猪瀬　尚志
写真ニュース(21)
秋祭りで奉納される里神楽　井上　富夫

◆奥武蔵　奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
加藤恒彦方
◇376　2010.11　B5　31p
追悼　松尾翔さん　秋澤　英雄
「闘諍堅固の月」—笛吹峠夜話　小泉　重光
奥武蔵について(下)　染谷　鷹治
昭和16年頃の奥武蔵の絵葉書　藤本　一美
雲になろう—独り歩きのススメ　関口　洋介
チベット旅行記　服部　英昭
特別寄稿　渋沢平九郎の足跡探索に三たび参加して「ありがとうございました」　新ハイキング社社長　鮫島　員義
埼玉一のブナの巨木(1)　湊　祐二郎
元祖〈山ガール〉　木城　昭彦
若者の山離れについて思う事　大場　誠
60代は今男盛りなり　木本　和男
山行報告

◆季刊 Collegio　之潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
℡042-328-1503　www.collegio.jp
◇42　2010.10　B6　64p　300円
『江戸・東京地形学散歩』の読者のために(6)　縄文海進前後の海面変動(2)　松田　磐余
縄文海進と縄文早・前期の遺跡　安孫子昭二
国絵図修復体験と幕府御文庫国絵図の修補　川村　博忠
フランス古地図音楽散歩(24)　サン・ルイ島　関根　敏子
東京電車線路物語(20)　短い支線あれこれ　井口　悦男
小型図紹介(6)　筑摩県管下之図　山下　和正
大陸彷徨(7)　ロマノフカ行(7)　島田　英常
『学習参考書地理的発見の歴史』について(2)　佐々木路子
コラム　江戸の崖・東京の崖(3)　柯(3)　豊島　信夫

◆儀礼文化ニュース　儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
℡03-3355-4188
◇174　2010.7　B4　8p
湘南の海の香りと潮神楽　神奈川県三浦郡葉山町　久保田裕道
とよのあかり　乞巧奠　藤岡富美子
催し物案内
レポート
儀礼文化講座　6月6日　歌舞伎における形と心　国立劇場芸能調査役・北潟喜久　佐々木　寛
儀礼文化セミナー　6月13日　日枝神社参拝と山王祭参観　佐々木幸子
サークル活動より　平成22年度の活動
遊技文化研究会　横山田鶴子
儀礼文化研究会　関根　宜子
映像研究会　倉林美千子
田んぼと畑作の夏　飯塚　好
渡辺良正の祭りスケッチ　月ごとの行事　8月
論壇　変容を可能とする核の存在　豊島　秀範
書　棚
植木行宣・田井竜一編　祇園囃子の源流—風流拍子物・羯鼓稚児舞・シャギリ　関　孝夫
さいたま民俗文化研究所編　東海地方の大凧揚げ習俗〈愛知県〉　岡本　一雄

◆交通史研究　交通史研究会
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
国士舘大学文学部　地理学教室
℡03-5481-3245　wwwsoc.nii.ac.jp/jstc/
◇72　2010.10　A5　118p
17世紀後半～18世紀前半における肥前磁器のアメリカ大陸への流通　野上　建紀
幕末期の国内政治情報と北部九州—筑前国黒崎桜屋・豊前国小倉村屋の「注進」行為について　守友　隆
歴史地理学における朝鮮時代陸上交通の研究　轟　博志
十字路　西三河の小河川における水運の衰退過程　村瀬　正章
書　評
三木理史著『都市交通の成立』清水　孝治
幡鎌一弘編著『近世民衆宗教と旅』　西海　賢二
例会報告要旨／第36回大会・2010年度総会報告／新刊紹介／展覧会情報

◆国際縄文学協会紀要
〒105-0003東京都港区西新橋1-17-15
北村ビル２階　℡03-3591-7070
www.jomon.or.jp
◇3　2010.11　A4　76+68p
小笠原諸島　北硫黄島—太平洋上の孤島に発見された謎の祭祀遺構　小田　静夫
縄文土偶の探究　小林　達雄
実験考古学　「打製石斧」の製作と両極敲打技法　久保田正寿
九州北半部地域における縄文時代後期の文化変容についての省察　石川　健
土偶について　日本の代表的な土偶解説　土肥　孝
うずまこーて！笹山縄文—火焔型土器のふるさと、笹山を知る　野沢　恒雄

◆史 潮　歴史学会
〒102-0072東京都千代田区飯田橋4-4-8
東京中央ビル同成社内　年4000円
1976年新1号創刊
wwwsoc.nii.ac.jp/rekigaku/
◇68　2010.11　A5　165p　2500円（抄）
《特集　歴史学と宗教研究》
18世紀後半のスペインにおける「バロック的信仰」と「脱キリスト教化」の再検討—バルセローナ市の職人とその妻たちの遺言書から　山道　佳子
18世紀フランスにおけるフリーメイソンと宗教—研究の動向と展望　田瀬　望
近代中国の新興宗教結社について—近年の研究動向とあわせて　小武海櫻子
武蔵野新田成立と寺院創出—寺社奉行の動向をめぐって　菅野　洋介
都市における同業神信仰　加藤　紫識
1860年代初頭の中国における上海欽差大臣改編論議　上野　聖薫
書　評
大石学編『一九世紀の政権交代と社会変動—社会・外交・国家—』　大橋　毅顕
片倉比佐子著『大江戸八百八町と町名主』　高山　慶子
枡田大和彦著『ワイマール期ドイツ労働組合史　職業別から産業別へ』　古川　高子
竹内誠著『寛政改革の研究』　加藤　貴
新刊紹介
加藤正彦、八耳文之編『黒羽清隆歴史教育論集』　岩崎　信夫
竹内誠編『江戸文化の見方』　山崎　久登
長谷部弘・高橋基泰・山内太編『近世上田領上塩尻村の総合

研究・別巻　飢饉・市場経済・村落社会—天保の凶作からみた上塩尻村—』　山崎　久登
月例会報告
江戸・東京の緑地と都市計画—公園・庭園の動向を中心に　小沢詠美子
一九世紀イギリスの都市と緑—都市煤煙問題を手がかりに　赤津　正彦
大都市近郊における植木屋の役割　平野　恵
文政京都地震(1830年)における被害状況　西山　昭仁

◆**城郭だより**　日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋北郵便局私書箱50号
℡03-3967-1948　年6000円
◇71　2010.10　A4　6p
五稜郭箱舘奉行所復元—奉行所主要部を忠実に再現
最近の城郭ニュースから
能登松波城で枯山水庭出土—戦国期城舘址から相次ぐ作庭遺構の出土を考える　西ヶ谷恭弘
第二海堡が台無しに!!—埋蔵文化財包蔵地と知らず遺構群撤去
最近の注目される城郭関係図書から　瀬戸島政博著『図版でみる江戸時代の測量術』、盛本昌史広著『中世南関東の港湾都市と流通』、鳥取市教育委員会『鳥取城研究年報』3号、豊橋市二川宿本陣資料館『三河・遠江の城郭展』
各地の城郭研究会活動から

◆**書籍文化史**　鈴木俊幸
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室
℡042-674-3789　2000年創刊
◇12　2011.1　A5　193+27p
墨本『香炉記』揮毫者の憂鬱　岩坪　充雄
頼三樹三郎書簡ほか—幕末期書物流通関係資料若干　堀川　貴司
尾張大國霊神社『和漢書籍奉納期』について　中澤　伸弘
豆合巻『きつねのよめいり』の版木と翻刻　高橋　明彦
まぼろしの『国史略』　稲岡　勝
長野県行政文書より旧長野県書籍文化・メディア関連史料(3)　青柳涼子／梅澤亜矢／鈴木翔／素野辰也／鈴木俊幸
古活字版悉皆調査目録稿(2)　高木　浩明
『国書総目録』書誌・書目関係索引　太田　正弘
『増補改訂　近世書籍研究文献目録』補遺(4)　鈴木　俊幸

◆**すみだ川**　隅田川市民交流実行委員会
〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方　℡03-3844-2008
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇48　2010.10　A4　20p
はじめに　お蔭様で本会は25歳になり、新たな旅立ちへ　糸井　守
隅田川市民交流実行委員会
平成22年度総会　篠田　裕
総会記念講演　河川行政の動向—隅田川など、低地帯を中心として　東野　寛
隅田川大学公開講座　講演会—隅田川沿岸自治体の水辺づくりについて　沼尻　重男
パネルディスカッション
荒川区「隅田川と荒川区」　川原　宏一
墨田区「墨堤の保全・創出」　齋藤　雄吉
台東区「隅田川の水環境」　斎藤　統
中央区「中央区の水辺づくり」石田　純一
隅田川大学公開講座　フィールドワーク(FW)「石神井川を中心に」　沼尻　重男
隅田川大学公開講座　文芸講座(1)
隅田川を歩いて俳句を詠もう！　岡部　恒雄
隅田川・不老川友好河川交流訪問　糸井　守
第30回ウォーターフェア
隅田川レガッタ　片田　宏一
納涼　第32回隅田川おどり　末永公一郎
隅田川クリーン大作戦「隅田川クリーン大作戦　はや5回になりました！」　藤原　隆
会員だより
新装なった都観光汽船浅草営業所　糸井　守
四万十川の鮎大使　竹田　一明
佐藤武レポート　佐藤　武
活動記録

◆**全国地名保存連盟会報**
〒176-0012東京都練馬区豊玉北2-13-15
℡03-3994-4021
www.geocities.jp/chimeihz/
◇72　2010.11　A4　4p
全国地名保存連盟会長就任のご挨拶　宇野　茂彦
地名保存連盟の会長を引くにあたって　犬養　智子
小笠原父島、母島という島名は誰がつけたか？　延島　冬生
長崎市の町名復活について　中尾　昭人
第28回総会報告
全国地名保存連盟
今後の活動目標

◆**全日本郷土芸能協会会報**
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14　パークハウス赤坂氷川102　℡03-3583-8290
年2000円　www.jfpaa.jp
◇61　2010.10　A4　24p
曽爾の獅子舞
奈良県宇陀郡曽爾村
秋の民俗芸能公演
受賞に寄せて　島根県指定無形民俗文化財　有福神楽保持者会　佐々木昌延
第13回全国獅子舞フェスティバル・飯田市
第12回全国こども民俗芸能大会／第7回伝統文化研修セミナー
生きる力をはぐくむ伝統文化
全国こども民俗芸能大会を見て　若林　一郎
東北夏祭り紀行　北河　直子
会員行事カレンダー祭暦
2010　10月～2011　1月
第20回全国地芝居サミット in 長浜　開催近づく／地芝居　黒森歌舞伎　“粋”を受け継ぐ　東北の雪中歌舞伎
地芝居探訪(36)　松浦　鳥夫
地芝居公演情報　10月中旬～12月
登米市民俗芸能大会の継続力／第18回地域伝統芸能全国フェスティバルにいがた／伊勢神宮展で芸能披露
民俗楽器(37)
チベットの太鼓踊り　山本　宏子
誌上講座(61)　地域伝統芸能を元気にさせる演出技法(4)　中坪　功雄
忘れられない思い出、心の中に残る言葉　菅野　芳治
会員紹介　目黒流貫井囃子保存会

大澤　国栄
会員情報／会員かわら版
良書紹介　越後瞽女ものがたり
　盲目旅芸人の実像　北河　直子
民俗芸能グッズ
　お宝自慢コーナー

◆大道芸通信　日本大道芸・大道芸の会
　〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
　光田憲雄　℡03-3307-2146
　www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇**218**　2010.10　A4　2p　100円
江戸と東京　風俗野史
大締一代記(6)（原作）藤本甲南
　／（著作）光田憲雄
◇**号外**　2010.10　A4　2p
日本大道芸・大道芸の会創立15周
　年記念　江戸・東京の大道芸
　本日開演
◇**219**　2010.11　A4　2p
日本大道芸・大道芸の会創立15周
　年記念　江戸・東京の大道芸
　好評裡に終了
大締一代記(7)（原作）藤本甲南
　／（著作）光田憲雄
◇**220**　2010.11　A4　2p
越前万歳と覗絡繰に見る八百屋お
　七物語
大締一代記(8)（原作）藤本甲南
　／（著作）光田憲雄
◇**221**　2010.12　A4　2p
大道芸通信総目録(3)
　—第151号から第220号まで
◇**222**　2010.12　A4　2p
ぺてん商法
大締一代記(9)（原作）藤本甲南
　／（著作）光田憲雄

◆多摩地域史研究会会報
　〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
　文化財ＣＯＭ内　℡042-521-0186
◇**95**　2010.11　B5　32p
第72回例会報告
　カマドをもつ竪穴建物　桐生　直彦
　古代東国の竈神をめぐって　荒井　秀規
立地と景観から考える多摩の中世
　(前期)寺院—江戸期の地誌・絵
　図と近代地形図を手がかりに
　(14)　4.正福寺と狭山丘陵の寺
　院　(4)鎌倉幕府の武蔵野開発
　と正福寺
　馬場　喜信
戦前期の高尾山とその周辺　安宅　達利
最近の発掘調査から　武蔵国府跡
　御殿地地区(仮称)の調査　荒井　健治

◆多摩のあゆみ　たましん地域文化財団
　〒186-8686東京都国立市中1-9-52
　たましん国立支店内　℡042-574-1360
　年1200円　www.tamashin.or.jp
◇**140**　2010.11　A5　116p
《特集　石仏にみる民間信仰》
石仏とその背後や周辺　石川　博司
村落結衆板碑と近世石仏の接点　縣　敏夫
近世庚申塔にみる「かたち」の普
　及—多摩と江戸・周辺地域との
　つながり　石神　裕之
相模原の石仏悉皆調査にみる民間
　信仰　加藤　隆志
多摩地域の念仏講と融通念仏塔　犬飼　康祐
洋風建築への誘い(29)　音楽と共
　に時の調べを—喫茶店 Bricks　伊藤　龍也
建物随想記(24)　煉瓦積みの蔵　酒井　哲
多摩の食文化誌(2)
　種子は神の前に　増田　昭子
多摩考古学研究会50年のあゆみと
　今後の展望　和田　哲
多摩のみほとけ(3)　あきる野市
　東町観音堂　阿弥陀如来坐像
　（市指定文化財）　齋藤　経生
本の紹介
　稲城市教育委員会編『奚疑塾と
　　窪全亮　稲城市文化財調査報
　　告書　第23集』　石山　秀和
　はむら民俗の会・羽村市郷土博
　　物館編『お伊勢・金毘羅道中
　　記—明治八年 羽村びとの旅』
　　大野　一郎
　東大和交通史研究の会編『震災
　　復興期の開発ブームをささえ
　　て　多摩湖鉄道』　高野　宏峰
まちの情報ハブ・図書館(3)
　小金井市立図書館　中村　正直
　三鷹市立図書館　江口あゆみ

◆地方史研究
　地方史研究協議会（発売：岩田書院）
　〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
　名著出版内　℡03-3816-0739　年6600円
◇**347**（60-5）2010.10　A5　92p　1143円
《大会特集Ⅱ　北総地域の水辺と台地—生活
　空間の歴史的変容》
第61回大会を迎えるにあたって
　　常任委員会／第61回大会実行委員会
〈問題提起〉
印旛沼周辺地域における弥生後期
　土器研究の課題　高花　宏行
「香取の海」を基盤とした中世の
　権力と文化　外山　信司
近世初期の開発をめぐる争論と裁
　許—成田地域周辺を中心にして
　　宮原　一郎
近世北総の地域的特質　出口　宏幸
利根川流域の山岳信仰
　—大山信仰をめぐって　西海　賢二
三方領地知替事件における川越藩
　—幕藩領主と「人気」　上白石　実
村落共同体における医師の役割
　—変死隠蔽事件を事例として　尾脇　秀和
「十条富士塚」の保全をめぐって　中山　学
「日本アーカイブズ学会二〇一〇
　年度大会」参加記　富田　健司
大原幽学記念館について　猪野映里子
成田市文化財保護協会について　小倉　博
研究例会報告要旨　江戸周辺鷹場
　と御場肝煎制—化政期を中心と
　して　山崎　久司
◇**348**（60-6）2010.12　A5　106p　1143円
明治三年遠州「大池事件」と静岡
　藩　杉山　容一
在地領主としての東国豪族的武士
　団—畠山重忠を中心に　清水　亮
中国山地における役牛の売買流通
　過程—牛馬商の専門分化と階層
　構造に関する分析　板垣　貴志
国文学研究資料館におけるアーカ
　イブズ学関係の研究と事業
　　国文研アーカイブズ学関連教員一同
越佐地方史談話会の活動について
　　本山　幸一
第3回四国地域史研究連絡協議会
　徳島大会シンポジウム「近代四
　国における戦争と地域社会」参
　加記　西村　健
日本歴史学協会報告　佐藤　孝之
展示批評　杉並区立郷土博物館特
　別展　没後三十年特別展「大田
　黒元雄の足跡—西洋音楽への水
　先案内人—」　竹村　誠
研究例会報告要旨　水戸藩領にお
　ける育子政策の展開　高村　恵美

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館だより
〒102-0081千代田区四番町1
℡03-3238-1139　1990年創刊
rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
◇34　2010.10　A4　8p
特集　平成22年度特別展「千代田の幕末—150年前の世相と文化—」開催　滝口　正哉
埋文ニュース(1)
発掘された番町旗本屋敷跡　後藤　宏樹
埋文ニュース(2)
「宮内省」銘の碗　水本　和美
収蔵資料紹介　金の星童謡曲譜第八輯『ペンペン鳥』　小山　貴子
区内文化財案内　山王稲荷神社本殿350年目の化粧直し　高木　知己
千代田区ミュージアム連絡会参加館の紹介　神田明神資料館

◆伝 え　日本口承文芸学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學文学部　花部英雄研究室
℡03-5466-0224　年4000円　1987年創刊
◇47　2010.11　B5　8p
昔話を、新しい語りに繋ぐ試み　佐々木達司
第58回研究例会シンポジウム「『世間』という問いから」　小池　淳一
第58回研究例会シンポジウム「『世間』という問いから」参加報告　根岸　英之
第34回大会講演　黒田日出男氏「山本勘助の就職と甲陽軍鑑」　藤井　貞和
研究報告
佐藤優「常陸坊海尊の長寿伝説信仰—東北地方を中心に」　小堀　光夫
高嶋めぐみ「口承文芸における婚姻—婚姻法史からみる」　小池　淳一
真下厚「愚人譚から巧智譚へ—口承秘話における主人公の転換」　達　志保
伊藤龍平「台湾の美談の行方—日本統治期／国民党政権期／民主化期」　編集担当
中込翔子「オモロの対句表現からみる神女」　酒井　正子
澤井真代「「もの言わぬ神」の「神口」—石垣島川平のマユンガナシ」　飯倉　義之
遠藤志保「アイヌ英雄叙事詩における経緯に関する発話」　川森　博司
藤井真湖「『元朝秘史』におけるイェスイ妃—グルベルジン・ゴア妃をめぐるチンギス・カン伝説との関連で」　間宮　史子
第34回大会・シンポジウム　うた・語りにおける人称—だれが語り歌うのか　三浦　佑之

◆東京産業考古学会　NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方　FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇85　2010.11　B5　6p
東京産業考古学会創立15周年式典と記念講演会「足尾銅山400年」の概要報告　田口　勇
報告　見学会「東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館」　多田　統一
報告　岡谷の近代化産業遺産群を訪ねて　平井　東幸
茨城県阿見町の赤煉瓦建築物(5)
旧霞ヶ浦海軍航空隊水上班庁舎　八木　司郎
第14回理事会の議事概要／第15回理事会の議事内容

◆日本史攷究　日本史攷究会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学教育学部1010研究室
℡03-5286-1574　年3000円　1957年創刊
◇34　2010.11　A5　76p
東照宮イデオロギーと異国—寛永期を中心に　張　慧珍
旗本保久石川氏の享保20年の家政改革と「在地代官」制への移行過程　柴田　知憲
東京都中央区における文化財保護の取組みとその課題—古文書を事例として　清水　聡
史料紹介
東寺観智院金剛蔵『東寺塔婆修造記』　貫井　裕恵
城井闘諍記(前)　古文書研究会
康治二年の藤原氏田地売券　柴辻　俊六
史跡めぐり　葛飾柴又寅さんの町から里見城址を訪ねて—江戸川の右岸と左岸の史跡を訪ねる　若林　徹大

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方　℡03-3996-4454
◇330　2010.11　A4　4p
平塚城の謎を検証する　葛城　明彦
豊島氏関係史料を読む(14)
上杉顕定と豊島氏(3)　伊藤　一美
照姫伝説考(2)　遠武　健好
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(11)　鎌田　茂男

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方　℡03-3992-0264　年2500円
◇93　2010.11　B5　4p
第93回例会　海洋名の変遷と日本海呼称問題　谷治　正孝
地名類型を考える—入　イリ　後藤　光
第12回地名談話会
◇94　2011.2　B5　4p
第94回例会　石神井城の総構えと豊島氏居館—館は江戸後期まで残っていた？　下島　邦夫
第15回地名観察会
石神井川源流を歩く
地名類型を考える(15)
—「島」地名　後藤　光

◆扶 桑　扶桑教大教庁
〒156-0043東京都世田谷区松原1-7-20
℡03-3321-0238
◇468　2010.9　A4　4p
六根清浄　御山は晴天
管長殿　百五十四回目の富士登頂／御神實遠還御／管長殿卒寿を祝う会／太祠夏越の大祓斎行／敬神の道標(2)「富士講」ノ研究書1／聖地巡拝(2)　船津胎内／おやま道をたどる(2)
公益事業報告

◆法華仏教研究　法華仏教研究会
〒114-0014東京都北区田端3-21-1
大久寺内　℡03-3821-1819
www.geocities.jp/houbutuken/
◇6　2010.11　A5　323p　2000円
鎌倉仏教と日蓮の思想　末木文美士
富士大石寺所蔵『日興跡条々事』の考察　東　佑介
日蓮真蹟書状における料紙について　寺尾　英智
日蓮と鎌倉政権ノート　坂井　法曄
大聖人の頭部を叩いた男(2)　山口　晃一
観心本尊抄開拓(5)　井本　勝幸

ハンセン病と日蓮　山中講一郎
『妙法蓮華経』を現代に読む(1)　藤本　坦孝
ハイデッガーと法華思想　尾崎　誠
本尊抄の教学上の諸問題　執行　海秀
日蓮の元寇預言について　辻　善之助
日真教学概要　林　日圓
日真大和尚のご生涯　真枝　真慧
本の紹介
　榎本境道編『教学歴史用語解説集』　東　佑介
　松長有慶著『密教—インドから日本への伝承—』　大賀　義明
会員の広場
　唱題の論理　村田　征昭
　「立正安国論」にみる平和への視点　山中耕一郎

◆**民具研究**　日本民具学会
〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
℡045-481-5661　年5000円
◇**142**　2010.10　B5　97p
特集　第34回京都大会公開シンポジウム「民具の保存」　菊池健策／日高真吾　用田政晴／伊達仁美
市民ボランティアとの協働作業—ろうけつ染技術の記録保存を例に　伊達　仁美
布資料の保管方法に関する事例報告—十日町市柳染色加工所ろうけつ染め見本を例に　石井　里佳
民具を活用した地域博物館における回想法・回想ワーク—その意義と可能性　岩﨑　竹彦
民具を利用した回想法と博物館・資料館運営—高齢化社会における役割について　福西　大輔
野州麻の生産地における麻の加工方法について—他地域との比較を通して　篠崎　茂雄
服飾のデジタル・アーカイブ化の試み—「山崎光子民俗服飾コレクション」を事例に　陳　玲
第35回大会シンポジウム「民具のデータベース化の現状と課題」によせて　小島　孝夫
第128回研究会報告　鉄製民具の保存修復方法—実践編　芝崎　浩平
展示批評・展示紹介
　長浜市長浜城歴史博物館特別展「糸の世紀・織りの時代—湖北・長浜をめぐる糸の文化史」　中藤　容子
　埼玉県立歴史と民俗の博物館常設展示「一生を生きる—人生儀礼」　板橋　春夫

◆**民俗芸能研究**　民俗芸能学会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内
℡03-3203-4141　年6000円
◇**49**　2010.9　A5　117p
〈平成21年度民俗芸能学会大会基調講演・シンポジウム　東北の獅子舞信仰における番楽〉
基調講演　本海番楽の特色　高山　茂
パネリスト報告
　東北の獅子信仰における番楽　松田　訓
　山形県北部の番楽と獅子信仰　菊地　和博
　岩手の獅子信仰　久保田裕道
討　論　小島　美子
研究ノート　地域に伝わる歌文化の実態と機能をめぐって—長崎県長崎市蚊焼町岳路の念仏を中心に　島　忠久
記録　山内の花祭り　山﨑　一司
書　評
　植木行宣著『芸能文化史論集』
　　1『中世芸能の形成過程』　松尾　恒一
　　2『舞台芸能の伝流』　長谷川嘉和
　　3『風流踊とその展開』　福原　敏男
　植木行宣・田井竜一著『祇園囃子の源流—風流拍子物・羯鼓稚児舞・シャギリ—』　山路　興造

◆**明治維新史学会だより**
〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学第Ⅰ研究館文学部歴史学科
小泉雅弘研究室　2004年創刊
www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
◇**14**　2010.10　B5　10p
〈2010年度秋期大会報告要旨〉
幕末維新期における自然法的天理の成立—異文明(文化)の交流・共存・共生について　楢原　孝俊
文部卿大木喬任と学制制定期の「国体」問題　重松　優
江藤新平と由利財政　星原　大輔
江藤新平の政治思想—司法省達四六号の思想的背景　大庭　裕介
2010年度第40回明治維新史学会大会(創立30周年記念大会)記事
2010年度第40回明治維新史学会大会総会記事
委員会だより

◆**目黒区郷土研究**　目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方　℡03-3711-3959
◇**669**　2010.10　B5　8p　150円
路線バスに乗って区内案内(9)
　(渋72系統)「渋谷駅東口～五反田駅」線の内、「元競馬場～林試の森入口」　平山　元也
禿坂・行元寺の隠語の碑　田丸　太郎
橋和屋地蔵秘話　橋口　明子
目黒地名の由来を尋ねて(8)　目黒　英夫
まぼろしの田道児童遊園地を追って(1)　吉田　早織
8月の行事報告　平山　元也
衾城合戦(終)　竹田　務
目黒区郷土研究会創立のころ
　(会報600号　平成17年1月)　熊谷　直夫
◇**670**　2010.11　B5　8p　150円
バス見学会参加記
　今昔つくば学園都市めぐり　事　業　部
路線バスに乗って区内案内(10)
　(渋72系統)「渋谷駅東口～五反田駅」線の内、「林試の森入口～五反田駅」　平山　元也
禿坂・行元寺豊道春海のこと　田丸　太郎
目黒地名の由来を尋ねて(9)　目黒　英夫
まぼろしの田道児童遊園地を追って(2)　吉田　早織
目黒に競馬場があった時代
　大スター取材秘話から(1)　編　集　部
大銀杏(1)　仲野　基道
◇**671**　2010.12　B5　8p　150円
10月の行事参加記　講演会と次大夫堀公園・民家園見学　山内美貴子
上水図　橋口　明子
アメリカ橋によせて(1)　田丸　太郎
目黒地名の由来を尋ねて　目黒　英夫
まぼろしの田道児童遊園地を追って(3)　吉田　早織
目黒に競馬場があった時代
　大スター取材秘話から(2)　編　集　部
大銀杏(2)　仲野　基道

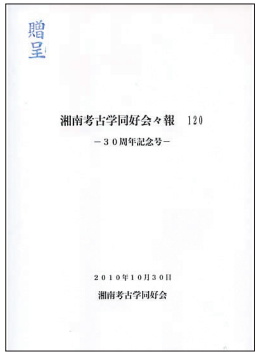
◆**郵便史研究**　郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方　℡03-3945-2497　年3500円
1995年創刊　www.yuubinshi.sakura.jp

◇30　2010.9　B5　78+64p　2500円
《15周年記念号》
飛駅・飛脚とその周辺
　—その歴史的変遷をめぐって　丸山　雍成
近世後期における雲州七里につい
　て　藤村潤一郎
最上紅花取引における飛脚問屋
　「京屋」「嶋屋」の利用—決済と
　情報　巻島　隆
通信特別会計成立に関する一考察
　石井　寛治
丹波国福井五等郵便局の経営実態
　—出納差引勘定仕上表の分析　藪内　吉彦
四国地方水路郵便線路の沿革　山崎　善啓
樺太民政署時代の記念絵葉書につ
　いて　福井　卓治
文献リサーチ余禄
　英国郵便史の文献を読み返す　星名　定雄
ていぱーく（逓信総合博物館）資料
　紹介(14)　郵便創業期の郵便賃
　銭表　井上　卓朗
小包送票異聞(4)
　朝鮮の小包送票　加藤　秀夫
旧刊紹介(4)　『逓信英会話』　鈴木　克彦
中山道筋郵便の開設　近辻　喜一
データシート　明治前期の郵便馬
　車／明治前期の鉄道郵便
近刊紹介
　白井二実著『維新の郵便』

◆小田原史談　小田原史談会
　〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13
　植田方　℡0465-48-9072　年3000円
　odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇223　2010.10　B5　28p
小田原山角町の肝煎屋敷（屋鋪）　中村　静夫
歴史の舞台　小田原周辺の大地を
　読む（後）　内田　智雄
旅のつれづれ俳句日記　剣持　芳枝
小田原の郷土史再発見　伊庭八郎
　を説得した男・村上珍休　石井　啓文
小田原藩浅田兄弟の敵討
　『孝貞義鑑』散策(7)　鈴木　好
蘇我・宗茂そして曾我への一六〇
　〇年の覚書(3)　市川一郎・清司
中沼薬師堂千年祭にお詣りして　田口　鏡子
小田原城跡植栽管理計画
栢山神社縁起　私見　木村　俊雄
懐かしい小田原風景　市川　敬一

◆コロス　常民文化研究会
　〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
　西海賢二方　年1000円
◇123　2010.11　B5　6p
城下町の民俗的世界
　—小田原の年中行事(12)　西海　賢二

◆湘南考古学同好会々報
　〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104　寺田兼方方
◇120　2010.10　B5　70p
《30周年記念号》
〈一般編〉
西富貝塚報告書作成作業　赤桐　邦子
宮平貝塚　天野　弘一
考古学との出会い　五十嵐美代子
湘南考古学同好会30周年おめでと
　うございます　石川　寛美
お導き　伊丹　徹
考古学と地理学　伊藤　等
考古学との出会い　伊藤　郭
第二の旅立ち　伊藤　吉雄
父の史話　上田　薫
考古学に関わって　榎本　洋一
すべては寺田先生との出会い　奥野　雅彦
30周年によせて　小野　笑美
考古学との出会い　川嶋実佳子
黒岩重吾ワールドに魅かれて　川副すみ江
きっかけの本　桑原安須美
私と考古学の出会い　斎藤　あや
考古学との出会い　榊原　智之
市立博物館の設立を　澤田大多郎
考古学との出会い　白勢　順子
発掘との出合い　神藤　泰敬
入会して早や12年　鈴木　祝子
湘南考古学同好会にお世話になり
　27年　鈴木　和一
私の考古学、その後　須田　英一
考古学との第二の出会い　染谷　七重
最初の出会い　寺田　兼方
私と考古学　中田　英
30周年での想い出　永野　博美
考古学との出会い、そして再開　永山　鶴一
私と考古学　西野　吉論
古代たたら雑感　西村堅一郎
湘南考古学同好会との出会い　野村　知子
絲綢ノ道（シルクロード）に魅せら
　れて　浜野　浩美
30周年記念おめでとうございます
　福嶋由美子
自分が考古学に関わるようになっ
　たきっかけ　御代　七重
郷土のことを知りたい　諸橋千鶴子
私と考古学　諸星幸代子
私の考古学入門　山田幸代子
かながわの考古学の話題と現場に
　親しんで7年　米　諄
〈論考編〉
明治期～昭和戦後期における遺跡
　発掘調査の動向と担い手たち—
　神奈川県藤沢市域を事例に　須田　英一
相模国の古代における製塩の問題
　—三浦半島の遺跡を中心に考え
　る　諸橋千鶴子
足洗型石斧の新例　岡本　孝之
〈講演要旨編〉
30年の歩みを振り返って　寺田　兼方
縄文時代草創期の藤沢　桜井　準也
弥生時代の藤沢　澤田大多郎
湘南の横穴墓調査30年の回顧　上田　薫
藤沢の近代遺跡　桑原安須美
◇121　2010.12　B5　24p
世界遺産に想う　上田　薫
酔龍愚見録(15)
　高松塚古墳は誰のもの(10)　澤田大多郎
さば神社を考える(12)
　4.さば神社と鉄製錬　西村堅一郎
「検証　相模国府」—古代都市復元
　への挑戦—を見学して　赤銅　邦子
諏訪神社の勧請をめぐる片瀬の古
　代史(1)　鈴木　和一
西久保大屋敷Ｂ遺跡第9次調査の
　見学記　永野　博美
“発掘された日本列島2010”見学記
　白勢　順子
「第5回 若手研究者を囲む勉強会」
　園部ゆうき
「國學院大學伝統文化リーサーチ
　センター資料館」を見学して　山口　礼子
「大地に刻まれた藤沢の歴史Ⅲ」展
　の見学　永山　鶴一



平成22年度湘南考古学同好会
　定例総会の記録　須田　英一
岡本孝之氏の講演「藤沢の弥生文
　化」を聞いて　伊藤　郭
横穴墓往還(7)—北江間横穴墓群　上田　薫
09藤沢市・隣接市町村考古学関係
　主要出版物一覧　上田　薫
＊昭和54年の発足から30周年を迎えたが、その前史として、藤沢市の稲荷台地に荏原製作所が進出することに伴い、昭和38年に行われた発掘調査に参加した國學院大學、日本大学、早稲田大学の考古学専攻生らから恒常的な活動の希望が高まり、同年に正会員34名、特別会員2団体によって「湘南考古学同好会」が結成されたことがある。その活動は5年程で途絶えたが、昭和50年代に入って再建の機運が高まり、改めて今日の会の発足となった。以後、藤沢の地に根ざして、遺跡破壊が続く西部地区開発地域内で埋蔵文化財の大規模な発掘調査を行い、報告書の刊行などの地道な活動を続けてきた。
　30周年記念号となった本号には、初期からの会員を含めて多くの参加者の回想等が納められている。いずれも、発掘調査においては自らの手で、汗を流したことによって、郷土のことを、まさに身にしみて知った喜びに溢れている。ただ、会員の平均年齢が上がり、会員数の漸減傾向の心配もあると言う。若い人たちの参加を期待したい。

◆ＤＪＩレポート　国際資料研究所
　〒251-0045神奈川県藤沢市辻堂東海岸
　3-8-24　℡0466-31-5061
　www.djichiiyoko.com
◇82･83　2010.9　B5　8p
世界アーカイブ宣言、採択　小川千代子
解説　世界アーカイブ宣言　小川千代子
アーキビストの散歩道(1)　神奈
　川ネット(仮称)、立ち上げへ—
　学習院大学アーカイブズ学専攻
　の院生一人、細々と立ち上げに
　奔走
アーキビストの散歩道(2)　博物
　館、図書館におけるアーカイブ
　ズの存在とMLA連携　チヨコ
　のアート・ドキュメント学会
　2010年度年次大会参加記
2010.6.12.アート・ドキュメント学
　会におけるコメント　小川千代子
やぶにらみ文献紹介／特集　千代
　子のあしあと／アーキビストの
　消息／国際資料研究所の主な活
　動

◆扣之帳　扣之帳刊行会
　〒250-0021神奈川県小田原市早川60
　青木良一方　℡0465-22-8852　年2500円
◇30　2010.12　A5　108p　500円
足柄学講座　歴史編
　小田原宿の飯盛女　宇佐美ミサ子
ボクの映画館(10)　集団時代劇の
　快作「十三人の刺客」　平倉　正
酒匂だより「ジョウビタキ」　町田紀美子
後北條氏を攻めた妙印尼　今川　徳子
現代中国の二宮尊徳への関心　尾上　武
歌舞伎を彩った人々(2)
　八代目松本幸四郎　田中　豊
相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る
　(4)　鶴ヶ岡八幡宮、江ノ島弁
　天　平賀　康雄
俳句の季語雑感　佐宗　欣二
父さん、夕焼けですよ　野頼　綾子
村芝居よオー(6)　朗読談義　本多　博
亀右衛門咄(7)
　倹約だ、御禁制だ　青木　良一
始まりの人(3)　李卓吾　茂木　光春

近代神奈川の書籍文化(5)
　横浜の回読雑誌会　高野　肇

◆民具マンスリー
　神奈川大学日本常民文化研究所
　〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
　℡045-481-5661　年3500円
◇511（43-7）2010.10　A5　24p　350円
『百鬼夜行絵巻』に描かれた器物
　の時代変遷(2)　下田かさね
民具短信
　ここにもあった！撚り蔟器　金野　啓史
収蔵庫を覗いてみれば
　うちわ、九星便、引札　大野　一郎
書籍紹介　『鳥取県史ブックレッ
　ト6　子どもと地域社会—鳥取
　の民俗再発見—』　樫村　賢二
アチック・ミューゼアムの民具コ
　レクション(27)　未登録の草履
　吉田　晶子
◇512（43-8）2010.11　A5　24p　350円
『会津農書』にみる臼と杵　佐々木長生
橋板製のエビス・大黒像　田中　宣一
「仙台筆」らしさとは何か　柏井　容子
◇513（43-9）2010.12　A5　24p　350円
からさわの柄をめぐる使用者の論
　理—「四国の連枷調査」の事例
　から　磯本　宏紀
アチック・ミューゼアムの民具コ
　レクション(28)　アダン葉製草
　履　吉田　晶子

◆悠 久
　鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
　〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
　℡0467-22-0315
◇122　2010.11　A5　132p　680円
《特集　神酒Ⅰ》
口絵　神酒口
エッセイ　お花見　村田　淳一
座談会　神酒
　佐古一洌／椙山林継／藤居鐵也
「酒」の語源と語義　寺井　泰明
白酒・黒酒のこと　加茂　正典
万葉集の酒の歌—大伴旅人「讃酒
　歌十三首」の構成と構想　近藤　信義
王朝時代の酒文化　今関　敏子
口絵解説　神酒口　岩崎　香子
小論文
　酒の神としての大神神社　後藤　照史
　賀茂下上社と御酒　新木　直安
　春日祭の酒　岡本　彰夫
　小國神社の古式神酒　打田　文博
　出雲大社の神事の酒造り　千家　尊祐
寄稿　松花堂昭乗と木下長嘯子の
　交友　矢崎　格
八幡宮紹介　若狭小浜八幡神宮
　（福井県小浜市男山）

◆歴研よこはま　横浜歴史研究会
　〒223-0056横浜市港北区新吉田町3255
　八城東郷方
◇65　2010.11　B5　46p
《特集　日本史の残る女性》
楠正行の恋人・弁内侍　和田　敏子
出雲の阿国の真実を語る　横須賀良子
梅田雲濱を支えた妻信子の悲運の
　生涯　竹村　紘一
神功皇后　蛭田　喬樹
欠史八代の后妃たち　田邊　英治
女帝の時代は日本の歴史の画期だ
　った　横山　忠弘
永井路子の世界　加藤　導男
那珂川河口に佇み「長久保なお」
　を想う　木村　高久
発表者紹介（平成22年4月～6月）

歴史一口メモ(25)　前部　謙蔵
エッセイ　50年ぶりの旅情「大リーグ観戦とナイアガラ周遊」
日米安全保障条約改定50年に想う　柳井　達雄
「水戸の会」発足と同会主催の日帰りバス探訪ツアー報告　竹村　紘一
平成22年度・春の歴史散歩「小田原宿と箱根路」
「歴研よこはま」俳壇／「歴研よこはま」歌壇
エッセイ　私と四国遍路(2)　齋藤　宗久
第1回所蔵本販売市開催報告　渡会　裕一
寄贈会報などのご案内　八城　東郷
倭国の暦雑考(3)
暦の継続と種類　間淵二三夫
稲葉佐渡守正成　竹村　紘一
江戸時代鎖国期における対外関係の諸相について(5)　荻島　和男
発表者紹介（平成22年7月、9月）
横浜郷土史団体連絡協議会第5回定期大会報告
「秋きぬと……」　丹下　重明
傾く（かぶく）

中　部

◆高志路　新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方　TEL025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇378　2010.11　A5　40p
イギリスで紹介された佐渡の刺し子仕事着と女性の暮らし　柳平　則子
『新潟細見』・『新かた後の月見』・『新斥冨史』の異板本　鶴巻　武則
鳥類研究者川口孫治郎と越後・佐渡—資料紹介『越後の鳥獣』より「粟島野鳥探訪記」　池田　哲夫
三人の民俗学者の思い出　本間雅彦・宮本常一・山口賢俊の三先生　丸山　久子

◆新潟史学　新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6830　1968年創刊
◇64　2010.10　A5　74p　1000円
追悼　小村弐先生を悼む　田村　裕
近世後期の他国稼ぎ隆盛と「国益」—越後国頸城郡の松尾講を事例として　加納亜由子
魚沼市弘誓寺所蔵「木造不動明王坐像」と戦国期新潟津不動院　前嶋　敏
新潟市駒首潟遺跡出土木簡と9世紀の越後国　相沢　央
書評　水澤幸一著『日本海流通の考古学—中世武士団の消費生活—』　瀬戸　哲也
新刊紹介　原直史編『近世平林町と越後荒川の世界』、芳井研一編『近代岩船郡と平林村木村家文書』　菅瀬　亮司
第59回新潟史学会研究大会・総会記事／2009年度卒業論文・修士論文題目

◆まきの木　巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西浦区巻甲3069-1
TEL0256-72-6757　年1000円　1978年創刊
◇93　2010.10　B5　24p
「竹山日記」にみる良寛と分水地域の文化活動—巻・曽根両組との比較において　亀井　功
お酒博士　坂口謹一郎先生　笹口　孝明
「宮城の明治村」登米を訪ねて　小山　則子
「視察研修旅行」に参加して　小林　フミ
郷土資料館だより

◆良寛だより　全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2　北方文化博物館新潟分館内　TEL025-222-2262
◇130　2010.10　B5　24p
良寛遺墨解説(88)　加藤　僖一
良寛尊像つれづれ(92)　重量感あふれる「良寛坐像」　廣井吉之助作　皆川喜代弘
折々の良寛(19)
記念すべき比叡山大会　長谷川義明
平成23年第34回全国良寛会総会 in 新潟(予告)
没後180年記念建立発願　良寛ブロンズ像「良寛さん　遊ぼ！」
全国良寛会総会・新潟大会にてご披露
何必館・京都現代美術館
没後180年「良寛遺墨展」盛況　柳本　雄司
会報・会誌紹介
全国良寛会・比叡山大会に参加して　澁谷　啓阿
良寛記念館主催　特別展「良寛・耐雪・御風」と講演会　高居　覺阿
新潟県良寛会総会　記念講演　良寛の「ひとり遊び」の自由な生涯は、なぜ可能だったのか(2)　長谷川洋三
良寛の宇宙　天上大風(2)　石川　嘉一
創作地唄　舞踏詩　良寛さんの歌草紙を観て　川口　霽亭
良寛クラブ南魚沼　ご紹介　折原　明彦
俳句でつづる比叡山大会　静岡県良寛会
トピックス／新刊書籍紹介

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670　www.city.iida.lg.jp
◇48　2010.10　A4　4p
第8回飯田市地域史研究集会　城下町飯田の性格・シャルルヴィルとの国際的比較を考える
サポーター募集　『胡桃澤盛日記』刊行事業を支援してくださる方を募集します／新刊紹介　『下伊那のなかの満州　聞き書き報告集8』を刊行しました
オリエンテーションに参加して　宮島長太朗
2010年度飯田歴研賞受賞作品／飯田アカデミア2010／歴研ゼミ
◇49　2010.12　A4　4p
小学校所蔵文書の調査研究を進めています
リレーエッセイ　第8回飯田市地域史研究集会における史学交流シンポジウム参加記　ギヨーム・カレ
歴研ゼミ／飯田アカデミア2010／地域史講座　飯田・上飯田の歴史／定例研究会
『上郷小学校100年の歩み』発刊目指して　伊坪　達郎
2010年度飯田歴研賞受賞作品　豊丘史学会『豊丘風土記』第20輯・記念号　歴研賞受賞について　原　嘉彦
サポーター募集　『胡桃澤盛日記』の魅力、可能性　橋部　進

◆伊　那　伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017　年5500円
◇990（58-11）2010.11　A5　50p　500円
口絵　宮壽丸御暇請状　原　董
『宮壽丸御暇請状』に関する一考察　原　董
木曽宮大工の宮彫り技術を受け継ぐ木曽亀　神村　透

「あきはみち」に寄せる人々の心
（26）　大原千和喜
戦時下における飯田・下伊那の防
空態勢　清水　迪夫
座光寺にもお札が降った　今村　善興
伊那谷の古代三合枡―「三合」墨
書土器を枡と特定するまで　岡田　正彦
◇991（58-12）2010.12　A5　50p　500円
口絵　遠山霜月祭（和田）の「踏み
ならしの舞」　櫻井　弘人
続伊賀良の寂円道場
―真宗教団の進出をめぐって　宮澤　恒之
写真で見る大正時代の杣と日雇―
天竜川を利用しての材木の川上
げ　林　登美人
蚕玉様信仰についての思い　棚田　芳雄
幻の天龍美術館（補遺）―深まる謎
や疑問の周辺を追う　鎌倉　貞男
史蹟を尋ねて緑の旗は行く
平城遷都1300年の古都の旅―飛
鳥・奈良・京都とその周辺　今牧　久
醍醐寺理性院を訪ねて　山内　尚巳
上醍醐　木下　睦子
三宝院の庭園　丸山　俊一
旅の途中の自然　原田　望
2010年『伊那』総目録

◆伊那路　上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
℡0265-78-6719　年5000円
◇646（54-11）2010.11　A5　40p　500円
《井月特集号（2）》
井月句碑、全集四版以後
竹入弘元／宮沢宏治
井月を支えた男　霞松の謎（2）　北村　皆雄
「ほかいびと―伊那の井月―」ロ
ケ日記（2）―春・早夏編　石曽根志季子
思い出の人・思い出の事（5）
何でも鑑定団への出演の記　桃澤　匡行
伊那谷のカワラヒワ
―民俗の窓を通して（8）　吉田　保晴
上伊那の野外彫刻（78）
あかね（辰野東小学校）　吉澤　正昭
古文書の窓（97）『源氏三枕』（伊
那の三女の共著）　竹入　弘元
師匠の背中（2）より（26）
松葉を束ねる　若林　徹男
◇647（54-12）2010.12　A5　48p　500円
《広域特集》
日本でアジアゾウの保護活動を始
めました　新村　洋子
第35回上伊那歴史研究会県外実地
踏査報告「伊勢信仰の道を訪
ね伊那との関連を現地に探る」
実地踏査の概要　北原　利雄
中津川市中山道歴史資料館　氣賀澤厚典
伊勢神宮の鬼門を守る朝熊岳金
剛證寺を訪ねる　芦部　公一
伊勢神宮内宮　中島　元博
斎宮歴史博物館を訪ねて　内藤りつ子
明治末の伊勢修学旅行日記に想
う　伊藤　一夫
松阪に本居宣長を訪ねて　唐木　孝雄
神子柴文化の探究（3）―遊動から
半定住生活への胎動　田中　清文
上伊那の野外彫刻（79）　Torso
（松井自動車工業株式会社）　吉澤　正昭
考古あれこれ（9）　弓良郷の存在
を推定するのにふさわしい主な
遺物　飯塚　政美
師匠の背中（2）より（27）
遊びの手伝い　若林　徹男
『伊那路』第54巻総目次　上伊那郷土研究会

◆信　濃　信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
℡0263-36-1785　年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇730（62-11）2010.11　A5　84p　900円
近世後期の信濃国・越後国におけ
る豪農の広域金融活動（上）―更
級郡今里村更級家を事例に　福澤　徹三
中世における馬屋状遺構について
曳地　隆元
明治30年代前半における農村青年
会の歴史的位置―初期下伊那青
年会における教育経験・地域性
・修養　瀬川　大
研究ノート　古代信濃と上宮王家
鎌田　宣之
書評　安保闘争50年の地域史研究
―新津新生著『青年たちの60年
安保　長野県からみる闘争の足
跡』によせて　大串　潤児
隣県地方史学界の動向（続）　山梨
県地方史研究の動向―平成21年
（2009）（追加）　高橋　修
◇731（62-12）2010.12　A5　80p　900円
《中世特集号「新視点 信濃における中世宗教
史―祈りと権力―」》
日蓮と信濃路　中尾　堯
信濃における里山系寺院の成立と
展開（上）　牛山　佳幸
中世神祇秩序の形成と一代一度大
神宝　田村　正孝
戦国期曹洞宗の地域展開と北高全
祝　村石　正行
佐久市・上宮寺金剛力士像と新海
三社神社神宮寺　織田　顕行
中世善光寺をめぐる一視点　原田　和彦
『信濃』第62巻総目次

◆千　曲　ふるさとに学ぶ　東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13　上小
教育会館内　℡0268-24-2182　年3000円
◇145　2010.10　A5　73p
第一次上田合戦の再考―戦い後の
対陣の経過を中心に　寺島　隆史
北澤家文書でみる北澤金平の生涯
野澤敬／横澤瑛
皇位継承を巡って―天智・天武天
皇の皇子とその子孫　滝澤　純子
田中宿勝軍地蔵の系譜　岡村　知彦
連載講座
古文書解読講座　第138回　清水　岩夫
地区だより

◆長　野　長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
℡026-224-2673　年4000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇273　2010.10　A5　48p　700円
小林計一郎の原点（4）
渡辺敏先生伝（2）　小林計一郎
村上義清の守本尊（2）　志村　平治
歴代本因坊と信州（3）
十二世丈和　中田　敬三
倒壊の危機「かるかや山西光寺の
刈萱塚」　小林　玲子
坂本龍馬と日本を洗濯した志士長
野へ　八木　輝夫
講談「真田三代記」（27）　小林　一郎
ダライ・ラマ法王十四世の来長（2）
小林　玲子
「おもてなしの町、須坂史跡めぐ
り」に参加して　小山　敏明
◇274　2010.12　A5　48p　700円
《特集　新発見の熊野観心十界曼荼羅》
熊野比丘尼が絵解きした「熊野観
心十界曼荼羅」　林　雅彦
東横田公民館蔵の熊野観心十界曼
荼羅　小林　一郎

「熊野観心十界曼荼羅」の発見　小林　玲子
歴代本因坊と信州(4)
　十四世秀和　中田　敬三
講談「真田三代記」(28)　小林　一郎
ダライ・ラマ法王十四世の来長
　(3)　小林　玲子
絵解き文化の旅(高野山)参加報告
　かるかや親子へ思いを寄せた旅
　・高野山　竹澤　環江
　高野山の旅　小出　章
　高野山の旅に参加して　村松恵美子
　世界遺産と絵解き、そして母回
　向の旅・感想　村松　忠夫
　世界遺産への旅　天沼　和子
　高野山を旅して　馬場佐智子
　おもてなしと熱意に深謝の念　大日方文武
　大切にしたい高野山とのご縁　小林竜太郎
　高野山の旅に参加して　矢向　忠雄

◆長野県民俗の会通信
　〒399-7104安曇野市明科七貴6535-5　巻山
　圭一方　TEL0263-62-6535　年5000円
　www.janis.or.jp/users/folk/
◇220　2010.11　B5　8p
韓国における男根崇拝　倉石あつ子
葉書でつぶやくコーナー
　閻魔大王とエンマコオロギ　小原　稔
長野県民俗の会平成22年度総会の
　お知らせ　事　務　局

◆岐阜市歴史博物館だより
　〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1　岐阜公園
　内　TEL058-265-0010　1985年創刊
◇76　2010.11　A4　8p
「鴛鴦（おしどり）」加藤栄三
企画展「ちょっと昔の道具たち」
加藤栄三・東一記念美術館「生命
　の尊厳　栄三・東一と生き物た
　ち」
加藤栄三・東一記念美術館「絵画
　制作の舞台裏　日展出品作と下
　絵展」
博物館ニュース　博物館への寄付
　がありました／歴博セレクショ
　ン　博物館のかくれた名品
研究ノート　長良川「古川」「古
　々川」の名称について　筧　真理子
館蔵資料紹介
　四代目尾上菊五郎の死絵

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
　民俗文化研究所
　〒438-0086静岡県磐田市見付3532　TEL0538
　-32-3546　www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇41　2010.10　A4　6p;
横須賀の身の丈の祭りだ
　静岡県掛川市横須賀　吉川　祐子
◇42　2010.11　A4　4p
地方の隠れた文化財　吉川　祐子
◇43　2010.12　A4　4p
祭り囃子の伝承に励む高校生
　静岡県立横須賀高校　吉川　祐子

◆静岡県近代史研究　静岡県近代史研究会
　〒432-8011浜松市中区城北3-5-1
　静岡大学情報学部　荒川章二研究室内
　年4000円　1979年創刊
◇35　2010.10　B5　1500円
総会記念講演　戦後天皇制とは何
　か　近代皇室と静岡地域との関
　係を中心に　小田部雄次
明治維新の話　原口　清
遠州地域初期報徳運動の特質　足立洋一郎
井口省吾日記にみる同郷会とその
　活動　樋口　雄彦
陸軍航空部隊の毒ガス戦研究演習
　—下志津・三方原・ハイラル・
　白城子　竹内　康人
書評　森武麿編著『1950年代と地
　域社会　神奈川県小田原地域を
　対象として』　橋本　誠一

◆静岡県近代史研究会会報
　〒432-8011浜松市中区城北3-5-1　静岡大学
　情報学部　荒川章二研究室内　年4000円
◇386　2010.11　B5　6p　200円
第32回総会　開催さる　村瀬　隆彦
11月例会レジュメ　明治期の静岡
　県安倍郡における地方自治—民
　間所在の史料調査を通して　岡村　龍男
紹介　梶山季之『ルポ戦後縦断』
　（岩波現代文庫）
◇387　2010.12　B5　4p　200円
「藤枝の米騒動」例会報告から1
　「1918年米騒動」の名称につい
　て　清水　実
12月例会によせて　竹内康人「陸
　軍航空部隊の毒ガス戦研究演習
　—下志津・三方原・ハイラル・
　白城子—」(『静岡県近代史研究』
　第35号2010年）を読んで　村瀬　隆彦
新刊紹介
　川崎司著『高木壬太郎』　樋口　雄彦

◆静岡県民俗学会会報
　〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
　homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇137　2010.10　A4　6p
第4回卒業論文発表会・相談会参
　加者募集／石川純一郎氏、地域
　文化振興で文科相表彰される／
　平成22年度例会「日向の七草祭」
　見学会のお知らせ
日向の七草祭　多々良典秀
講座「コメの民俗—稲作と人々の
　暮らし—」
「殿の虫送り」探訪報告　多々良典秀
シリーズ食(13)
　「べっこうずし」の広まり　松田香代子
静岡の民俗語彙・方言短信　イテ
　バ(外立ますみ)／博物館情報／
　受贈資料・刊行物紹介

◆静岡歴研会報　静岡県歴史研究会
　〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
　篠原旭方　TEL054-286-8659
◇129　2010.10　B5　12p
ヤマト民族のふるさとへ　奈良県
　桜井市・橿原市方面を探索　一
　泊二日史跡見学会　篠原　旭
第89回研究会　松本検氏の「明治
　天皇と鉄舟」の概要／鈴木康弘
　氏の「連歌師宗祇・宗長の東国
　の旅」の概要／寺尾弘之氏の「宇
　喜多秀家と八丈島について」の
　概要

◆豆州歴史通信　豆州研究社歴史通信部
　〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇463　2010.11　B5　4p
徳川家康と熱海温泉　1597(慶長
　2)年3月1日　江戸から徳川家康
　の熱海・湯治、駕籠に乗り、3
　月3日夕刻熱海到着
◇464　2010.12　B5　4p
伊豆市町村名百年の移変遷　1888
　(明治21)年4月17日　「静岡県市
　町村名百年の変遷・はしがき」
　より転載

◆あつた　熱田神宮宮庁
　〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1

℡052-671-4151　www.atsutajingu.or.jp
◇228　2010.11　A5　28p
熱田社の和歌と文学(29)—田山花袋『京阪一日の行楽』の場合　八木意知男
熱田神宮遷座祭と河野省三　辻村　全弘

◆郷土研究誌みなみ　南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘5　南知多町教育委員会内
℡0569-65-2880　1966年創刊
◇90　2010.11　A5　88p　500円
大井医王寺の絵馬　中村　祥
九十号は百号への通過点　松本　亀男
九十号の発刊に寄せて　沢田　壽一
豊浜漁港の矢穴石(1)　高田　祐吉
名古屋城と篠島の矢穴(2)　石橋　伊鶴
明智光秀は信長の武将か？(前)　安原　俊実
南知多の墓の移り変わり—両墓制から単墓制へ・火葬化による墓制の変貌　畑　聰一郎
内田佐七翁と老堂狸会　大岩　義昌
たぬき寺の鶏二句碑と闇汁俳句会　内田　白花
米と時代　加藤喜代吉
「空爆に泣いた」　鈴木　廸生
山茶碗ロマン　村田　修
北脇の地名の謂れは“おきた脇”か？　大岩　隆
みなみちたボランイティアガイドが案内する尾張の豪商・前野小平治ゆかりの地を訪ねて(1)　丸山　専治
尾州内海伊勢丸の漂流　内田　辰男
南知多町内海における総会並びに研修会　伊藤　定男
「みなみ」目次総覧　第81号～第90号　編　集　部

◆比較人文学研究年報
名古屋大学大学院文学研究科　比較人文学研究室　〒464-8601名古屋市千種区不老町
◇7　2010.3　B5　157p
エチオピア南西部に暮らすマンジョの請願活動—1997年から2001年にかけて提出された請願書の読解を通して　吉田早悠里
民族誌映像アーカイブ構築の試み—商業民族タカリーの映像人類学　森田　剛光
「東九条マダン」という民族祭りにおける「共生」理念の再解釈—カテゴリー的「共生」から／と「楽しみ」の共有　片岡千代子
ストリート・チルドレン支援のＮＧＯ、ケオーゴ KEOOGO の活動から見える　清水　貴夫
「路上の生き様 La vie de la rue」『扶桑略記』の特徴とその享受—仏教関連記事の検討から　三好　俊徳
日本における「アフリカン・ダンス」　菅野　淑
テキストに見る神楽屋敷の民俗文化—東栄町小林区田ノ口家文献悉皆調査を通して　松山由布子
長野県諏訪の「木遣り唄」—練習と保存会活動について　石川　俊介
書評と紹介　田中二郎『ブッシュマン、永遠に。　変容を迫られるアフリカの狩猟採集民』　寺田　騰

◆まつり通信　まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
℡0567-37-0441　年5000円
◇550（50-6）2010.11　B5　8p　600円
ハラタノス考　金田　久璋
尾張大國魂神社の儺追神事　藤原喜美子
第60回記念全国民俗芸能大会“北から南から”出演芸能紹介／民俗芸能学会　平成22年度大会
春日若宮おん祭次第覚／12月のまつり／1月のまつり

近　畿

◆湖国と文化　㈶滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
℡077-522-8369　年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇133（34-4）2010.10　B5　92p　600円
《特集　琵琶湖疏水120年》
百二十年の時を超えて琵琶湖疏水は語る　織田　直文
琵琶湖疏水と現在—安らぎと潤いをお届けする琵琶湖疏水　辰巳　修二
歴史的文書から見る琵琶湖疏水　栗生　春実
琵琶湖疏水を歩く　編　集　室
滋賀のかくれ里(17)最終回　石をたずねて(3)　朽木谷の興聖寺(旧秀隣寺)庭園　いかいゆり子
興味津津　私の近江(9)　農家の幸せ　里山の繁栄(後)　MOTOKO
あの町この町(30)　愛荘町　今関　信子
現代滋賀ブランド(2)　中央分水嶺　高島トレイル80キロ　前川　正彦
余呉トレイル40キロ　辻川　作男
ぶらり分水嶺　余呉トレイル　行市山／高島トレイル　大谷山
編集長対談　湖に生きる(38)　文楽三味線　鶴澤清介さん　根津眞澄／馬場和実
滋賀文化事情　図書館利用率全国一　県内図書館の過去・現在・未来　國松　完二
第4回迎えたアートの祭典　7ヵ国50組が近江八幡に BIWAKO ビエンナーレ2010「玉手箱—Magical World」　中田　洋子
続・ふるさと歴史散歩「なぎさ公園」—大津港から瀬田川へ　早藤　貞二
近江人物伝(7)　甲良豊後守宗廣　木村　至宏
湖国　人・物・風景(22)　湖国のキリシタン　イルマン福永慶庵の殉教　苗村　和正
ごきげんさん(34)　都会と田舎のパイプ役を目指す制作会社のチームリーダー　笠原憲さん　辻村　琴美
滋賀の伝説と民話「祇王井川」　渡邊守順／斉藤裕子
近江の海　おーい老いと呼んでみる(22)　死者はどこを見ていたか　熊谷栄三郎
北から南から　江竜喜信／奥田安都佐／西川清子／今井信／県芸術文化祭実行委員会／編集室
談話室(2)「近江ブランド野菜」をご家庭に　住谷　一樹
やんちゃ坊主伝　戦中戦後編(12)　ないものづくしの時代　高橋　勉
湖國藝術紀行(6)　井上靖「星と祭」の世界—湖北の観音さんを回る　植田　耕司
水源の森を訪ねて(32)　鈴鹿北部の自然豊かな石灰岩地帯から流れ出る豪快な川は私たちに自然の底知れぬ力を見せてくれる—犬上川　檀上　俊雄
伝承にみる淡海(31)　連載を振り返って(上)　生活や信仰を色濃く反映　黄地百合子

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1

℡0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇91　2010.12　A4　4p
テーマ展「井伊家歴代の刀剣」／テーマ展「翁―新年を寿ぐ―」／テーマ展「雛と雛道具」／テーマ展「直弼発見！井伊直弼の藩政
金亀玉鶴　領地をもたない藩―彦根新田藩の朱印状交付をめぐって　藤尾　隆志
講座のお知らせ　平成22年度　入門講座「彦根藩井伊家の歴史」／展示紹介　シリーズ戦国　開催中

◆民俗文化　滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
℡0740-36-1414　年4800円
◇566　2010.11　B5　12p　400円
権力者の国法(憲法)によって大きく変わる人生観　菅沼晃次郎
怪雨(前)　吉岡　郁夫
建部伝内賢文の書の評価論(7)　中村　武三
小谷落城と浅井一族の伝承(1)―信長の虎御前姫山築城と天吉寺焼討ち　馬場杉右衛門
犬上郡多賀町(旧脇ヶ畑村)の城(1)―杉坂一夜城伝説と玉免山陣城の発見　長谷川博美
滋賀の石造文化財(中世)の概観について(6)　福沢　邦夫
辞令書と委任状について　粕渕　宏昭
グミについて　粕渕　宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と共に―回想記(20)　奥山　芳夫
◇567　2010.12　B5　12p　400円
なぜ人類はお互いに殺しあうのか―地球は一つ、人生を全うするための教育を　菅沼晃次郎
建部伝内賢文の書の評価論(8)　中村　武三
怪雨(後)　吉岡　郁夫
小谷落城と浅井一族の伝承(2)―月ヶ瀬城放棄と信長、大岳奇襲　馬場杉右衛門
犬上郡多賀町(旧脇ヶ畑村)の城(2)―杉坂一夜城伝説と杉坂山陣城の発見　長谷川博美
滋賀の石造文化財(中世)の概観について(7)　福沢　邦夫
「腹当」(はらあて)について　粕渕　宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と共に―回想記(21)　奥山　芳夫

◆京都市政史編さん通信
京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る松蔭町138-1　京都市歴史資料館内
℡075-241-4312　city.kYoto.jp/somu/rekishi/
◇39　2010.11　A4　8p
児童公園・児童館・ちびっこひろば(上)　森川　正則
市役所の姿、市民の思い―『京都市政史 第1巻』を読みおえて　上田　誠

◆史迹と美術　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146　中西ビル内
FAX075-441-3159　年8000円
◇809（80-9）2010.11　A5　34p　915円
鰐口の銘文(13)　愛甲　昇寛
鬼瓦百選(88)　小林　章男
安康・雄略紀小考(上)　田寺　英治
第950回例会　野仏庵や詩仙堂を中心に、京都洛北の庭を巡る　加藤　友規
第951回例会　松阪市と多気町の御仏を訪ねて　木下　幹夫
◇810（80-10）2010.12　A5　32p　915円
安康・雄略紀小考(下)　田寺　英治
鬼瓦百選(89)　小林　章男
風水研究(5)　『営造宅経』和訳(5)　寺本　健三
口絵写真解説
南丹市八木町の石造美術　矢ヶ崎善太郎
関係誌紹介
第80輯(801～810号)総合目録

◆土 車　古代学研究所だより
〒604-8205京都市中京区三条大路北・高倉小路西　℡075-252-3000
www.kodaibunka.com
◇120　2010.9　B5　6p
朱雀院の放鳥試　古藤　真平
舒明天皇国見歌論　八木　孝昌
「法住寺殿の武将墓」被葬者再考　野口　実
随想　私のふるさと桑折町　角田　文衛
財団法人古代学協會の新公益財団法人化に向けて　大坪　孝雄
新理事就任／古代学講座の開講

◆都藝泥布　京都地名研究会通信
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方　℡0774-44-7636　年3000円
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇34　2010.10　A4　8p
第26回京都地名フォーラム報告
山科の地名の由来について（鏡山次郎）／紀要との地名表示「上ル・下ル」の導入への道（糸井通浩）　入江　成治
第29回京都地名フォーラムのご案内　テーマ「南山城の地名と資料」
会員の出版紹介　『吉田金彦著作集①～⑧』全八巻、『為信集と源氏物語』笹川博司著、『京都学を楽しむ』知恵の会編
十月の一筆あれこれ　吉田　金彦
京都の地名検証３　好評発売中／第30回地名フォーラム／糸井通浩副会長がテレビ出演／知恵の会　第97回例会ご案内
◇35　2010.12　A4　8p
第29回京都地名フォーラム報告
第Ⅰ部　報告　木津川市馬場南遺跡　神尾寺をめぐって　古代神山信仰と寺院（伊藤太）
第Ⅱ部　シンポジウム「椿井文書と地名研究」　基調報告(馬部隆弘)／コメント　椿井文書の史料的価値1(村上泰昭)、椿井文書の史料的価値2（藤本孝一）
第30回地名フォーラム「丹後と地名研究」
出版案内　京都地名研究会のシリーズ三部作　京都の地名検証、京都の地名検証2、京都の地名検証3
平成22年度を振り返って　吉田　金彦

◆やましろ　城南郷土史研究会
〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野田芝29　中津川方　℡0774-86-3262
1953年創刊
◇24　2010.10　B5　130p　1200円
相楽木綿とその絣文様―色糸縞絣木綿の研究　山本　菜穂
高麗寺の発見と調査(中)　中津川敬朗
天保～弘化年間の田原道新道整備について　塚脇　康宏
田原尋常高等小学校の茶摘風景　赤塚　康雄

子どもたちの地域史(7)　地域と
共に育む—お茶の町・田原の歴
史と伝統を学ぶ取組を通して
田原小学校　芦田浩章／後藤裕樹
鹿背山通信(5)
—熊沢蕃山と鹿背山　田辺　英夫
南山城文学誌のあわさい(4)
南山城のマンボの語源　古川　章
追　悼
「郷里は恭仁京」帝都の誇り
故久保田基男先生を偲ぶ　浦本　幹男
「私たちの相良郡」と久保田基
男先生　中津川敬朗
小室哲さんのご冥福を祈る　東　義久
田原村の日清戦争　今西義彦家文
書に見る青年の入営と戦死
橘尚彦／仁張真人
奈良電狛田駅での機銃掃射事件と
祝園部隊からの救援出動(2)　柴田　保彦
中学生いまむかし(中)—山城中学
校での60年間の調査から　赤塚　康雄
少女雑誌いまむかし
—中学生の読書に思う　梅原恭仁子
南山城地域の仏像　参考文献集成
—12世紀篇(1)阿弥陀如来像　八田　達男
こうの巣山のヨジババ　東　義久
受贈図書

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
℡075-465-8151
www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/
◇50（18-1）2010.9　A4　24p
スポット　ミュージアムの所蔵品
(47)「爆弾三勇士の皿」
巻頭つれづれ
「入館者70万人」に迎えた人々　安斎　育郎
館長だより
医療倫理と医師のあり方　高杉　巴彦
ミニ企画展・特別展開催報告(2010
年4月～2010年8月)
ここが見どころ　戦争展示の難し
さ(2)—ファーザースタディへ
の誘い　小関　素明
運営委員リレー連載
英語教育における平和教育　赤沢　真世
ミュージアムおすすめの一冊　小
貫雅男・伊藤恵子著『菜園家族
21—分かちあいの世界へ—』(コ
モンズ　2008年刊)　藤岡　惇
祝！入館70万人達成
事業報告　2010年度特別展　カレ
ル・チャペックの世界—文芸を
通した平和と人間性の追求／夏
休み親子特別企画2010／チャ
レンジ体験受け入れ・ＮＧＯワ
ークショップ開催／無言館京都
館開設5周年記念　戦没画学生
「戦場からの絵葉書」展／国際
平和・人権連続セミナー／ホー
ムカミング関連企画

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方　℡0724-28-0204　年1200円
◇275　2010.11　B5　10p
南北朝の宮里城跡推定地について
白石　博則
大宮神社の再興(2)　上田　繁之
伝承百人の佐野物語(1)
禅興寺阿弥陀如来と永福寺　北山　理
史料紹介　戦後の泉佐野漁業(4)　事　務　局
◇276　2010.12　B5　12p
河内三善氏の和泉へのまなざし
(上)　堀内　和明
大宮神社の再興(3)　上田　繁之
伝承百人の佐野物語(2)
千手千眼観世音菩薩と清福寺　北山　理
移行期の群像(70)
寺僧の人々(31)　井田　寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
℡06-6931-1081　年5000円　1984年創刊
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
◇315（27-11）2010.11　B5　8p
巻頭言　マジック(奇術)のおもし
ろさ(1)　山崎　保雄
歴史研究会「第26回全国大会紀州
田辺大会」の報告　松坂　定徳
10月例会報告(第290回)「中世貴
族の生態—『増鏡』『明月記』に
見る」阪本信子氏／特別プログ
ラム「映像の20世紀—京都編」
稲垣隆造氏
10月見学会報告
八尾・久宝寺寺内町巡り　川村　一彦
◇316（27-12）2010.12　B5　8p
巻頭言　マジック(奇術)のおもし
ろさ(2)　山崎　保雄
11月例会報告(第291回)「「武士
の町」としての大阪—江戸の武
士たちは大坂に何を見たか」藪
田實氏／古文書講座(第124回)
「払米の流通」石川道子氏
11月見学会報告　谷町筋より北西
への歴史コース　吉川　三郎

◆大阪の歴史　大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内　℡06-6539-3333
1980年創刊
◇75　2010.8　A5　142p　700円
《特集　住吉方面》
遠里小野遺跡の楼閣建物の再検討
黒田慶一／松岡利郎
史料紹介　天文二十二年八月十一
日住吉大社所蔵『伊豫國宇和郡
一圓漁初穂致受納之由緒』　小出　英詞
平安・鎌倉期の住吉社境内寺院と
津守氏—境内寺院別当職の変遷
から　生駒　孝臣
摂津国平野郷町における村入用と
住民構造　平岡　瑛二
明治中期の天満天神裏にみる大道
芸と寄席の風土　高島　幸次
みおつくし
またも負けたか八聯隊　堀田　暁生
新刊図書紹介　『新発見　豊臣期
大坂図屏風』、『大坂西町奉行新
見正路日記』、『和のおもちゃ
絵・川崎巨泉』
史料収集彙報／市史編纂日誌

◆かいづか文化財だより　テンプス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
℡072-433-7126　1996年創刊
◇43　2010.11　A4　8p
和泉葛城山ブナ林
願泉寺の修理事業、終了間近／平
成22年度貝塚市郷土資料展示室
特別展のお知らせ　貝塚御坊願
泉寺と平成の大修理
孝恩寺の仏像—如来像(1)
釈迦如来坐像
古文書をひも解く
願泉寺にのこる秀吉からの禁制
古文書講座「江戸時代の天災—地
震・雷・火事…—」／古文書講
座(第35回)開催のお知らせ
貝塚市の風景—ユニチカ株式会社

貝塚工場跡

◆家系研究　家系研究協議会
〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26　島野穣方　℡072-634-5909　年5000円　1981年創刊　www.geocities.jp/kakenkyou/
◇50　2010.10　B5　164p
《創立30周年記念号》
30周年記念に寄せて　丸山　浩一
系図資料『姓氏原始録』(13)　武田　光弘
『甫庵信長記』と『信長公記』
『甫庵信長記』と『豊臣秀吉譜』
—《信長記もの》と《太閤記もの》の一考察　牛田　義文
珍姓のルーツ(15)　中田みのる
上州の名族桐生氏興亡史　飛田　政一
安原備中守宗範の出自と事跡　安原　繁俊
近世の名寄帳にみる家の継承　開沼　正
斎藤家の年表(改定版)　斎藤秀幸／開沼正
“大浦氏の出自”と“二つの南部の流れ”(5)　吉井　功兒
真説津軽為信物語(中の3)—大石内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤か、時慶卿記の真実　佐藤　博
大友能直は源頼朝の落胤か？　垂水嘉平太
石見吉川家の歴史　田村　紘一
三淵氏系図の仮説的再構築　岩城　大介
備中国小田郡有田村　桑田家系　桑田　浩一
日本人と「七仏」の謎
日本七仏の謎(4)　川村　一彦
家系研究協議会の歩み　馬原　浩一
創立30周年記念大会支援基金ご芳名録／創立30周年記念大会協賛金ご支援御礼文
コラム
ここでちょっとコーヒーブレイク　馬原　浩一
奇名変名大集合・変名編　巻11　邑智氏／巻12　我如古氏　眞野　幹也
あとがき　表紙会章について　編　集　係

◆家系研究協議会会報
〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
島野穣方　℡072-634-5909　年5000円
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇34　2010.10　B5　8p
家系研究協議会　平成21年度夏の例会報告
家研協たより／図書出版案内／受贈図書・資料
尊王開国　善本　正
珍名さんいらっしゃい(31)　眞野　幹也

◆河童通心　和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
℡072-251-2586　年2400円
◇323　2010.10　A5　16p
河童の文化史—宮尾しげを特集　和田　寛
◇324　2010.11　A5　28p
河童の文化史　平成期(5)　和田　寛
◇325　2010.12　A5　22p
河童の文化史　平成期(6)　和田　寛

◆近畿文化　近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
℡06-6775-3686　年2200円
◇731　2010.10　A4　8p　300円
壬申乱を走る(3)—桑名から不破、そして近江へ　猪熊　兼勝
吉野の建築と高取城石垣　矢ヶ崎善太郎
平安遷都1300年記念　橿原考古学研究所附属博物館70周年記念秋季特別展　奈良時代の匠たち—大寺建立の考古学
◇732　2010.11　A4　8p　300円
甲賀の古社寺(2)
—旧水口町域を中心に　関根　俊一
元興寺旧境内を歩く　狭川　真一
◇733　2010.12　A4　10p　300円
南海道を行く　泉森　皎
洛南深草と湖東の建築—宝塔寺と御上神社・奥石神社散策　櫻井　敏雄

◆古代史の研究　関西大学古代史研究会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部　西本研究室内
◇16　2010.10　A5　72p　1500円
北陸道と久我国—ウミとクヌガ　渡里　恒信
持統・文武朝の山稜祭祀と国忌　渡辺瑞穂子
法隆寺東院の創建について　岡田　玲子
陽成譲位儀式と光孝の即位　鴨野有佳梨
史料探訪

◆除痘館記念資料室だより
㈶洪庵記念館　除痘記念資料室
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
緒方ビル　℡06-6231-3257
◇1　2010.3　A4　4p
発刊にあたって　緒方　高志
大阪の除痘館開設160年に寄せて　古西　義麿
緒方洪庵と河田雄禎　芝　哲夫
中川修節宛て「除痘館分苗免状」をめぐって　淺井　允晶
エドワード・ジェンナーの牛痘種痘法開発の意義　加藤　四郎
人痘種痘法から牛痘種痘法へ　米田　該典
除痘館記念館資料室と生涯学習　川上　潤
除痘館記念館資料室のあゆみ　古西　義麿
新刊紹介
緒方惟之著『医の系譜』　淺井　允晶
◇2　2010.6　A4　4p
《緒方洪庵生誕200年記念特集》
緒方洪庵生誕200年に寄せて　緒方　惟之
牛痘種痘苗(モーニケ苗)伝来の経緯によせて　加藤　四郎
大坂除痘館と緒方洪庵
—その開設と展開　淺井　允晶
大坂除痘館の推移と発展
—官立化と変遷をめぐって　米田　該典
緒方洪庵と緒方郁蔵　古西　義麿
緒方洪庵と足守除痘館　淺井　允晶
古手町除痘館の記念碑建立について　川上　潤

◆つどい　豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方　℡06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇273　2010.10　B5　14p
三角縁神獣鏡と邪馬台国論—桜井茶臼山古墳の調査成果に寄せて　福永　伸哉
『三国志』烏丸・鮮卑、東夷伝の国々の位置と面積　草川　英昭
大分・熊本の古代史を探る旅(1)　古高　邦子
◇274　2010.11　B5　20p
古墳時代の他界観とその系譜　辰巳　和弘
9月バス旅行
但馬の古代を訪ねる　小川　滋
荒木村重は何故信長に叛いたのか　金谷　健一
纒向遺跡 第168次調査現地説明会に参加して　阪口　孝男
◇275　2010.12　B5　22p
古代日本における聖婚と服属—神武伝説・コノハナサクヤビメ神話における成婚伝承の意味するもの　塚口　義信
竹内街道から磯長王陵の谷を巡る　山口　久幸
宝塚市長尾山古墳発掘調査現地説

明会　山口　久幸
読書室　検証『前期旧石器遺跡発掘捏造事件』　松澤和人著

◆西淀川・公害と環境資料館だより
〒555-0013大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル４階　℡06-6475-8885
www.aozora.or.jp/shiryou/
◇33　2010.11　A4　2p
西淀中学校「文化発表会」に行ってきました／西淀川郊外の“被害の現場”を体感する　司法修習生の研修受け入れ
ただいま資料整理中
「準備書面」と向きあって　天野憲一郎
もりもとまきのアーキビストの目
所蔵資料紹介　教育現場で、公害と向き合う—出来島小学校の取り組み
こんにちは新着図書です　エコミューズの資料が使われています
『新修豊中市史　通史2』2010年3月

◆ヒストリア　大阪歴史学会
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学人文学研究科　市沢哲研究室
1951年創刊　wwwsoc.nii.ac.jp/historia/
◇222　2010.10　A5　147p　800円
《特集　伏見城研究の成果と課題》
特集にあたって　大阪歴史学会委員会
伏見城と豊臣・徳川初期の城郭構造　中井　均
伏見城の機能とその破却について　福島　克彦
伏見城の考古学的調査　丸川　義広
伏見城下町の考古学的調査　森島　康雄
伏見城・城下町の研究史と陵墓問題　山田　邦和
まとめと展望　大阪歴史学会委員会
日本古代の断罪手続きと本司の役割　大井　喜代
研究ノート　綸旨の施行からみる建武政権の特質　中井　裕子
わたしたちの文化財
関西本線「亀ノ瀬トンネル」　石田　成年
新刊紹介　田村貞雄編『「ええじゃないか」の伝播』　幡鎌　一弘
報告　2010年度「第26回歴史学入門講座」の記録　本田　章訓
委員会報告
◇223　2010.12　A5　281p　1500円
《2010年度大会特集号》
〈部会報告〉
交野地域からみた古墳時代の須恵器生産　吉田　知史
関連報告　5世紀代における陶邑窯跡群の東部と西部　十河　良和
古代国家における道路行政の特質　望月　悠佑
院政期における伊賀国黒田荘の拡大と負名　正木　有美
室町領主社会の形成と武家勢力　山田　徹
幕臣団における「寄合層」の検討　高久　智広
幕末政治と〈決断〉の制度化—江戸幕閣の動向からみる　奈良　勝司
郡役所廃止の歴史的意義—農林行政及び兵庫県農会との関連を中心に　深見　貴成
開国期の幕府外交と海防掛　後藤　敦史
書　評
井上寛司編『日本中世国家と諸国一宮制』　田村　正孝
小森崇弘編『戦国期禁裏と公家社会の文化史—後土御門天皇期を中心に—』　湯川　敏治
新刊紹介　久留島浩・高木博志・高橋一樹編『文人世界の光芒と古都奈良　大和の生き字引・水木要太郎』　幡鎌　一弘
委員会報告

◆Libella　公害地域再生センター
〒555-0013大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル４階　℡06-6475-8885
www.aozora.or.jp
◇117　2010.11　A4　8p
《特集　「公害を学ぶ場」をつくる資料館》
ESDとしての公害教育スタディツアー　井上　有一
公害地域の今を伝えるスタディツアー2010　眞鍋麻衣子
スタディツアーの感想
語ることと信頼　奥田みのり
違いを理解し乗り越えるために　江見可菜恵
素直に自分の心を重ねる　清水万由子
五感をフルに使う　内藤　陽介
昭和電工への意見　工藤明日香
2010年のエコミューズ　林　美帆
中国からの手紙　Temaca滞在記　張　亜　東
交流の場が誕生します！　北中　大輔
リレーエッセイ　みつけてみませんか？あなたのそばの「アーカイブ」　森本　米紀
忙中一筆　記録よりも記憶　大滝　あや

◆歴史考古学　歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方　℡072-331-6679
年3000円　1978年創刊
◇62　2010.10　B5　87p
韓国梵字資料調査(2007･08年調査)　高正龍／小林義孝／田村信成／松永修輔／松波宏隆／三木治子／山川公美子／横田明
はじめに／韓国の梵字と真言／梵鐘／梵字瓦と銘文瓦／金工品／石造品／仏画・木製品／梵鐘銘文／おわりに／引用文献

◆摂播歴史研究　摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12　℡079-442-0658　1986年創刊
◇53　2010.11　B5　8p
徳井史料館建設の記　城戸　直和
遊女の里を歩く　谷山　由夫

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内　℡0798-33-0321
◇511　2010.10　B5　8p
10月行事案内　西宮神社 観月祭
街道歩きの話　吉井　貞俊
西宮船坂ビエンナーレ2010
伊勢参宮本街道を歩く(45)／東海道新景観(6)　吉井　貞俊
◇512　2010.11　B5　8p
11月行事案内　講演会　文楽の魅力　講師・山下孝夫先生
日本美と神道　吉井　貞俊
知識の価値と寿命　川口平三郎
東海道新景観(7)
◇513　2010.12　B5　8p
忘年懇親会
西宮と大塩平八郎　山下　忠男
伊勢参宮本街道を歩く(46)／東海道新景観(8)　吉井　貞俊

◆歴史と神戸　神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4　田中印刷出版内　℡078-871-0555　年3000円
◇282（49-5）2010.10　A5　48p　600円
《特集　戦争の記憶と記録1》
ある女学生の戦争体験　人見佐知子
史料紹介　柳田國男・松岡家顕彰会記念館所蔵　松岡静雄の柳田國男あて書簡　岩井　忠彦
落合重信記念賞受賞記念講演
被災史料保全から見えた地域史像—歴史資料ネットワークの15年　奥村　弘
被災史料の救出と地域遺産—風水害への対応を中心に　松下　正和
◇283（49-6）2010.12　A5　48p　600円
《特集　戦争の記憶と記録2》
動乱期の青少年教育史話　ああ荷台の辺に—戦中戦後を生きた中高生の記録(1)　森田　修一
戦争の時代を考える—神戸大空襲から六十五年　たかとう匡子
原体験から追体験へ—戦争の時代を追体験する　玉井　洋子
芦屋市の戦争遺跡　竹村　忠洋
由良要塞の変遷　原田　修一
あの播州歌舞伎が網干の興浜にやって来た　田中　早春

◆LUCIFER　水平社博物館
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
℡0745-62-5588　1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇13　2010.10　A5　52p
第10回企画展「丹波マンガン記念館展」を開催して　仲林　弘次
第13回企画展「『大逆事件』と部落問題—熊野・新宮グループを中心に—」を開催して　仲林　弘次
公開講座報告　丹波マンガン記念館の歴史と歩み　李　龍植
水平社博物館ニュース

◆熊　野　紀南文化財研究会
〒646-0024田辺市学園6-3　濱岸宏一方
℡0739-25-0657　年3000円　1969年創刊
◇139　2010.11　A5　70p
文久元年の沿岸測量—イギリス軍艦の紀州沿岸測量顛末　桑原　康宏
世界遺産を掘り起こした人びと
西律と岩神王子　浅里耕一郎
近世田辺領における追放刑(流罪)について—居村追放(下)　芝　英一
改訂版・中瀬喜陽編『南方熊楠書簡　平田寿男宛ノモノ』(上)
部落史素描(2)　田辺本町新蔵召捕り一件の深層　藤井　寿一
文化財ニュース・会合メモ

中国・四国

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
℡0858-26-1811　1995年創刊
◇32　2010.10　A5　96p
特別寄稿　韓国学ことはじめ　内藤　正中
居延漢簡に見える卒家属稟名籍について　永田　英正
明治時代の欝陵島漁業と竹島＝独島問題(2)　朴　炳渉
アメリカ農業研究に関する一考察　藤本　晴久
翻訳　『ブックスタートプログラム案内—赤ちゃんは本が好き』及び『お母さんとお父さんのためのブックスタートガイドブック』　齊木　恭子

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28　光珍寺内
℡086-222-2028　年2000円　2002年創刊
◇36　2010.10　A4　10p
宇喜多直家公と愛染明王　石渡　隆純
小牧・長久手合戦と宇喜多氏　大西　泰正
円融院お福（宇喜多秀家の母・戦国・16世紀）　谷淵　陽一
戦前の絵はがきと岡山城　小野田　伸
物語直家記伝　乙子の城　第7回衣襴の屋敷(2)　山重十五郎

◆岡山地方史研究　岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36　村上岳方
℡086-942-6156　年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇121　2010.10　B5　34p
岡山藩の神社政策と吉田家　別府　信吾
『長島は語る　後編』合評会
『長島は語る　岡山県ハンセン病関係資料・後編』をよむ　西村　芳将
『長島は語る—岡山県ハンセン病関係資料集—』合評会に参加して　在間　宣久
書評　倉地克直著『江戸文化をよむ』を読んで　井久保伊登子
紹介　別府信吾著『「備中岡山藩」の世界—岡山本支藩の研究』　山本　太郎
研究余禄　井原市井原町の券番・置き屋などについて　井上　奈緒

◆岡山藩研究　岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部　紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
◇63　2010.11　B5　10p
〈第18回総会の記録〉
報告要旨　参勤道中と藩世界　泉　正人
討論要旨
参加記　泉正人氏の報告を聞いて　山本　英貴
事務局報告について

◆岡山民俗　岡山民俗学会
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方　年4000円　1949年創刊
◇231　2010.11　B5　88p
《佐藤米司先生追悼号》
農家女性のライフコースと家の論理—長崎県壱岐郡における明治期から終戦までの事例　鶴　理恵子
乙子「聚鱧社」常夜灯　辻野　喬雄
高瀬舟船頭の服装　湯浅　照弘
邑の信仰的空間構造—中国山地最奥部　岡山県苫田郡上斎原村上斎原地区の場合　片田　知宏
讃岐流採鹹技術の伝播　歳森　茂
資料紹介　久米郡柵原町吉ヶ原下之町荒神講組合の規約及び運営に関する資料について　片山　薫
佐藤米司先生追悼
踊堂(躍堂)（遺稿）　佐藤　米司
訃　報
佐藤米司先生を悼む　次田　圭介
佐藤米司先生と研究会　田中　久夫
佐藤米司先生のご逝去を悼む　坂田　友宏
佐藤米司先生とわが娘　湯浅　照弘
佐藤米司先生を偲ぶ　中山　薫
佐藤米司先生への感謝　難波　俊成
佐藤米司先生の在りし日　河合　久和
佐藤米司先生からの聞き書き　片田　知宏

◆岡山民俗学会会報
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17

次田圭介方　年4000円
◇205　2010.11　B5　19p
超人的業績—立石憲利氏著作二百
冊刊行記念祝賀会　次田　圭介
訃報　有森猛顧問・歳森茂顧問
お詫び—五十周年記念論文集　次田　圭介
「稲作技術アンケート調査」(「岡
山県の稲作行事」)の出版を断念
する　次田　圭介
投稿　祭りの山車—壇尻・千歳楽
など　吉原　睦
短信／みんぞく読書会／学会記事
7月例会報告
7月例会発表要旨
沖新田政田地区民俗調査中間報
告(8)—沖新田の食生活　森　恵子
私と歴史と民俗学—現在の石の
信仰　遠山　義雄
9月例会報告
9月例会発表要旨
沖新田政田地区民俗調査中間報
告(9)—干拓地の夏まつり　河合　久和
「戦国の村城」について—旧川上
郡田井村の秋町城を中心に　野田　和心
11月例会報告
11月例会発表要旨
近世後期杉本家庵室における不
受不施派の信仰　平松　典晃
岡山の忌み地について　木下　浩

◆きび野　岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇120　2011.1　A5　14p
表紙説明　伝馬達筆『高士図』　守安　収
年頭にあたって　石井　正弘
随想　夢は叶う　佐々木義行
岡山の人物　炭谷小梅　太田　健一
岡山の自然　箸立天神伊吹ヒバ　森上　知洋
岡山の文化財　興譲館「東館」　藤原美恵子
わが町・わが村の自慢　あの日の
おもちゃ箱　昭和館(美作市)
岡山の匠　馬場秀雄（吉備国際大
学文化財保存修復学研究科）
文化財団ニュース／催しのご案内

◆芸備地方史研究　芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3　広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643　年3000円
◇273　2010.10　A5　30p
備後南部における鞆の浦の位置づ
け—草戸千軒遺跡の研究成果か
ら　鈴木　康之
新刊紹介　河村昭一著『中世武士
選書　第2巻　安芸武田氏』　玉井絵里香
動向　建国記念の日のヒロシマ
(44)／鈴峯オープンカレッジの
記録／新聞記事から(2004年7月
～12月)／広島県の地方史研究
芸備掲示板
「地域学創造会議@尾道」　尾道学研究会
秋の企画展「幕末の動乱と瀬戸
内海」　広島県立歴史博物館
史跡をあるく　尼子四郎の門柱

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157　www3.plala.or.jp/big-eye/
◇156　2010.10　A4　16p
忘れ得ぬ人々　田口　義之
古文書を読み解く楽しみ(2)　木下　和司
神の語源　根岸　尚克
密書(弐)　小林　定市
例会報告
8月城郭部会月例会より　坂本　敏夫

古墳と商家—酷暑の柳井紀行　野母　寿子
戸出用水と「石塔さん」　田口　由実
創立30周年記念行事の報告　藤井　保夫
講演会記録　広島県の中世山城
(1)—戦国期の居城を中心に
紀行文　戝ヶ岳散策　高橋　光雄
綣鈎史跡探訪記(9)
「明智伝説の城」探訪(3)　末森　清司
壱岐を訪ねて　佐藤美枝子
随想　絶版岩波文庫を読む楽しみ
岡田宏一郎
◇157　2010.12　A4　16p
掛迫第6号古墳に関する伝聞資料　田口　義之
密書(参)　小林　定市
日熊塔　杉浦　道彦
持衰を古墳に見る　根岸　尚克
天皇と正戸山　坂本　敏夫
30周年記念に寄せて
30周年祝賀会に参加して盟友・
佐藤錦士氏を想う　末森　清司
引野梶島山の首無地蔵の首が還っ
てきた　三好　勝芳
写真で視る郷土探訪(新市町常)　田口　由実
随　想
映画「桜田門外ノ変」鑑賞記　種本　実
「おまけ」の話　平田　恵彦
紀行文　佐伯市の歴史・文学と県
南石造物を訪ねて　後藤　匡史
読者投稿　雑感　門田　幸男

◆広郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内　TEL0823-71-0706
1998年創刊
◇97　2010.5　A4　22p
変わり行く広と廃寺院　恵現寺跡
の今　上河内良平
太刀掛呂山先生と楓社にご縁を得
て　相原　英昭
藤田家文書　第Q章　藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料
(4)　小栗　康治
平成22(2010)年度　総会資料集　吉田　顕治
古文書部会・例会報告　吉田　顕治
◇98　2010.7　A4　28p
昭和20年以前の広弁天橋と高等官
が暮らした官舎　上河内良平
広島県が謡われた万葉集の歌　大村　一郎
昭和30年代の広町を描いた映画
「営団だん子」の上映実現のお
願い　山下　愼一
広村名品遺作集　文化財探訪　上河内良平
古文書部会・例会報告　吉田　顕治
◇99　2010.9　A4　22p
文久二年壬戌五月浅野茂長公領内
御廻広村経路　藤田家文書
Q-15より　上河内良平
すべては維新から　あまりにも知
られなさすぎる郷土の維新と先
覚の人々　武田　正視
藤田家文書　第Q章　藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料
(5)　小栗　康治
広村名品遺作集　文化財探訪
神垣家　上河内良平
古文書部会・例会報告　吉田　顕治
◇100　2010.11　A4　22p
旧海軍特攻兵器「海龍」　上河内良平
最後の特攻作戦　特攻兵器「海龍」
と本土決戦準備にかかわって　上田　勲
藤田家文書　第Q章　藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
Q-1広島水力発電所基本資料
(6)　小栗　康治

会報100号によせて　上河内良平
古文書部会・広地区教育祭次第・
例会報告　吉田　顕治

◆わが町三原　みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇235　2010.10　B5　12p
今月の各地
福島家の統治が続いていたら　正田　公佑
三原(旧)一周膝栗毛を終て（第六
コース）　福岡　幸司
梨羽氏について(完結編)　山根　光博
秋の研修旅行ご案内
山口県萩城跡と周辺めぐり　柏原　栄三
◇236　2010.11　B5　12p
今月の各地　葉煙草再乾燥場跡　山根　光博
三原(旧)一周膝栗毛を終て（最終
日コース）　福岡　幸司
角屋と上月氏(3)　上田茂／大谷和弘
◇237　2010.12　B5　12p
今月の各地
みつき第1公園に牡蠣小屋出店　下西　勝彦
萩城跡と周辺巡り感想
萩城跡見学　山根　光博
萩を訪ねて　川上　哲司
明治維新発祥の地　萩市を訪問
して　大本　静人
角屋と上月氏(4)　上田茂／大谷和弘

◆新居浜史談　新居浜郷土史談会
〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
新居浜市生涯学習センター内
TEL0897-33-2991
◇381　2010.10　A5　42p　500円
寅の年(2)　加地　和夫
目で見る古代の伊予　法隆寺勢力
の瀬戸内海進出と古代の伊予
(1)　吉本　拡
高校生の活動報告　別子銅山の歴
史への取組み　愛媛県立新居浜南高等学校
語り伝えて
伊予三島市　新長谷寺　小野　清恒
金毘羅信仰覚え書き　喜代吉榮徳
会だより
◇382　2010.11　A5　44p　500円
『一遍聖絵』の風景を歩く
—聖徳太子廟　加地　和夫
目で見る古代の伊予　法隆寺勢力
の瀬戸内海進出と古代の伊予
(2)　吉本　拡
特別寄稿　新居浜の郵便・電信開
業変遷秘話　山崎　善啓
会だより

◆秦史談　秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方　TEL088-875-6671
◇160　2010.12　B5　67p
川田鉄弥と桂浜学園　広谷喜十郎
吉田東洋とその先祖　鍋島　静一
「日本の論点」（文芸春秋編）につ
いて　田中小代子
伊呂波丸事件と龍馬(2)　岩崎　義郎
公益信託　高知市まちづくりファ
ンド2010年度　公開審査会(「ま
ちふぁん」から)
辻売り（『土佐の民謡』から）　藤本　知子
名古屋の町　広谷　雅子
天の逆鉾を引き抜いた龍馬夫妻　松本　紀郎
拓進丸　漂流記　瀬戸　鉄男
民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(10)　中浜万次郎さんか
らの便り　久米生太子／藤本知子
ここはどこ（俳句）　西方　郁子
『秦史談』第122号　長浜菖蒲谷の
哀史十　宍崎村の検証と慰霊
(訂正分)　瀬戸　鉄男
将軍と一兵卒—祖父　龍馬を語る
毛利　俊男
チエリ抄(14)　永国淳哉／藤本知子
思い出　山本華与子
不思議な体験(3)　山本華与子
紙芝居　おお、龍馬！(2)　永野美智子
座る龍馬像お目見え（『高知新聞』
より）
資料　史跡めぐり　松本紀郎／廣松晃吉
岡村庄造氏拓本集から(21)　岡村　庄造

九州・沖縄

◆九州史学　九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375
www.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇157　2010.10　B5　76p
天正期島津氏の領国拡大と足利義
昭の関係　伊集　守道
明治十四年政変後の華族の立憲制
への対応—華族制度形成に関す
る一考察　久保　正明
書　評
本馬貞夫著『貿易都市長崎の研
究』　八百　啓介
木原溥幸著『佐賀藩と明治維新』
野口　朋隆
〈2009年度九州史学研究会大会　公開講演・
研究発表要旨〉
公開講演
近世日朝間の外交文書と以酊庵
輪番僧　池内　敏
福沢諭吉の地域開発論と華族
—中津・延岡・福岡を例に　小川原正道
研究発表
平安時代における皇親賜姓氏族
の存在形態　西松　陽介
筑前国早良郡安楽平城と大内氏
三村　講介
九州大学附属図書館所蔵細川文
庫「藤孝事記」について　井手麻衣子
近世後期関東農村の豪農経営と
酒造業　加納亜由子
シンポジウム「大名華族と旧藩意
識」
「大名華族と旧藩意識」が切り
拓くかもしれないもの　シン
ポジウム開催にあたって　山口　輝臣
明治期における立花寛治の華族
意識と旧藩主意識　内山　一幸
大正・昭和期における有馬頼寧
と「旧藩地」人脈の形成　野島　義敬

◆長崎談叢　長崎史談会
〒850-0025長崎市博多町9-2　宮川ビル内
TEL095-822-4605　1928年創刊
◇98　2010.3　A5　114p
古賀地方の殉教者　デ・ルカ・レンゾ
長崎の高木家(作右衛門系・彦右
衛門系)の家系について(1)　原田　博二
阿蘭陀通詞と異文化摩擦
—文化文政時代の外交　白石　広子
出島と洋馬輸入(3)　籏先　好紀
吉永雪堂宛福田忠昭書簡(2)　新名　規明
長崎における坂本龍馬（附　長崎
における坂本龍馬一覧）　井出　勝摩
行事報告

◆浜木綿　五島文化協会
〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
カメラのササキ内　TEL0559-72-2409
◇90　2010.11　A5　142p
「交友録」

上海の古き友人たちを憶う　松原　剛
思い出の東北旅行　田森テイ子
私の感動した短歌(16)　佐々木祥一
心温まる幼少の故郷回顧(6)『終戦六十五年に思うこと』—生々しい三人の証言　山中　彦昭
犬達がいた日々(前)　伴　靖子
五島歳時記「台風銀座」　武羅井　高
老少不定に思いを寄せて　早瀬　栄子
「玉砕乗船十分前」　遠藤　孝男
同人誌・『浜木綿』(ハマユウ)と共に生きてきて　才津　玉樹
富江騒動始末記(5)　竹山　和昭
古事記・肥前国風土記にみる古代の五島　櫻井　隆
五島椿の発展計画—五島のために今何をなさねばならないか　比留木忠治
父の手紙に見る激動の「昭和」(6)　内海　紀雄
九州に於ける網捕鯨の始まり(2)　荒木　文朗

◆**史料館研究紀要**　大分県立先哲史料館
〒870-0814大分県大分市駄原587-1
1996年創刊
◇**15**　2010.6　A4　63+27p
先哲史料館秋季企画展記念シンポジウム「先哲に聴く　おおいたの明日・日本の未来—堀悌吉・山本五十六の生き方から考える—」　芳賀徹／半藤一利／杉田啓三
特集　秋季企画展「堀悌吉と山本五十六—この志奪ふべからず—」　安田　晃子
論説　臼杵藩士久保会蔵小伝—下級武士の学問とその評価　村上　博秋
史料紹介
明治・大正・昭和と書き継がれたムラの記録—生桑区「社日祭五穀善神録」　平井　義人
「淡窓先生手書克己篇」にみる廣瀬淡窓の苦悩—末弟旭荘のこと　大野　雅之
事業報告
史料サポーター学習会の活動について　眞鍋　松子
屋外学習偶感　上田　隆司
サポーター学習会の雑感　金丸　順子
学習会に参加して　西田　一保
史料サポーターとしての感想　吉田　勝重
先哲史料館年報(平成21年度)／先哲史料館要覧

◆**季刊 沖縄**　㈶沖縄協会
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9　エー・ゼットキュウブビル５階　TEL03-3552-2341
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇**39**（15-3·4）2010.10　A4　60p
琉球大学開学60周年と今後の展望　岩政　輝男
沖縄と私　沖縄が輝ける時代に　中島　義和
亜熱帯沖縄の木や森や里山(1)琉球列島の固有種リュウキュウマツ　新里　孝和
受け継いでゆく経験　門野里栄子
シリーズ第1回　沖縄の芸能について—沖縄の芸能俯瞰と私見　鈴木　耕太
家庭科教育における社会保障制度学習に関する研究　石川ふじの
Topics／沖縄協会だより/沖縄覚書

◆**宮古郷土史研究会会報**
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8
下地和宏気付　TEL0980-72-9963
◇**181**　2010.11　B5　8p
11月定例会レジュメ　狩俣の民謡「ンナグズ ヌ イサミガ」考　仲宗根浩二
12月定例会
近代殖産興業政策と宮古上布　粟国　恭子
沖縄後期更新世の自然環境は？—9月定例会より　久貝　弥嗣
「宮古の神話研究序説」報告—10月定例会　宮川　耕次
祥雲寺並びに権現堂の創建400年　仲宗根將二
「宮古島市制施行五周年記念式典」挙行された　宮古郷土史研究会会員安谷屋昭さん、仲宗根將二さん感謝状(個人表彰)うける　事　務　局
伊良部村落生誕700年を考える—1310年説の根拠はあるのか　下地　和宏
第5回宮古島市民総合文化祭・郷土史部門　宮古島市南部地区の史跡めぐりを実施　事　務　局
雑感　史跡めぐりに参加して　砂川　明男
平和・清潔・真実の尊重される国を求めた「仲元銀太郎先生」生誕百年　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆**古河城**—水底に沈んだ名城
古河歴史博物館編・刊（〒306-0033　茨城県古河市中央町3-10-56　TEL0280-22-5211）2010年10月　A4　80
古河公方 足利成氏の古河城御座の年から数えて555年目を記念する古河歴史博物館の特別展図録。中世・近世を通じて重要な役割を担いながら、現在はわずかな遺構を残すのみとなっている古河城を、新発見資料も交えながら再検証する。古河御陣—古河公方御座555年／古河城—555年の変遷／古河城下図—江戸時代の古河を散策する／郭—古河城を構成する単位／終焉—水底へ沈んだ名城

◆**古文書解読集**3
守谷古文書サークル編・刊（TEL0297-45-2161）2010年9月　A4　159頁
茨城県守谷市の守谷古文書サークルによる市内の古文書解読集第3集。下総国相馬郡野木崎村(現守谷市野木崎)椎名半之助による天明2年(1782)4月に播磨高砂を発って郷里へ戻るまでの「西国道中日記帳(三番)」と、寛保2年(1742)の関東大水害を記録した「洪水国難抄」を影印とともに収録する。

◆**黒羽藩主大関家文書の世界**
大田原市黒羽芭蕉の館・刊（〒324-0234　栃木県大田原市前田980-1　TEL0287-54-4151）2010年11月　A4　106頁
黒羽芭蕉の館の平成22年度企画展の展示図録。戦国時代、下野国烏山城主那須氏の重臣から関ヶ原合戦を経て近世大名としての地位を確立した黒羽藩主大関家に伝存する約2300点の史料のうち、大名家文書の概要を示す80点を紹介する。幕府・朝廷などとの関係を示す文書／黒羽藩・大関家の内部関係文書／中世以来伝来してきた古文書／幕末維新期文書／近代大関家関係文書／史料解説／釈文／黒羽藩の時代と「大関家文書」(新井敦史)

◆**「多喜二奪還事件」の記録**—伝説から史実へ「多喜二奪還事件」資料集3
長谷田直之編　伊勢崎・多喜二祭実行委員会（〒372-0051　群馬県伊勢崎市八幡町44　TEL0270-25-1130）2010年9月　B5　98頁　1000円
戦前の治安維持法下で不当に検束された小林多喜二・村山知義・中野重治等のナップ作家を民衆の力で解放させた1931年「多喜二奪還事件」について、第一次史料・新聞記事・回想などの資料をまとめる。第1回伊勢崎・多喜二祭の『伊勢崎署占拠・多喜二奪還事件資料集』、第2回『「多喜二奪還事件」の文学的前提』につづく資料集第3集。第一次史料／新聞記事／回想／付章　旧菊池敏清家調査報

告書（『ビエネス』第16号、2010年3月）

◆会報『郷土はとがや』掲載論考
岡田博自選集Ⅱ—鳩ヶ谷居住恩礼探訪抄
鳩ヶ谷郷土史会叢書6

岡田博著（〒334-0013　埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5　電話048-281-4118）2010年10月　A5　203頁　1900円

小谷三志や不二道孝心講を中心とした鳩ヶ谷の郷土史研究の第一人者である著者の『郷土はとがや』に掲載された平成10年以降の論考など28編を収録する。共同調査課題「屋号調べ」序説—鳩ヶ谷に江戸時代から続く店(1)～(3)／特別課題「我が家の屋号」—那賀鉄工所始末記(1)～(3)／『小渕邑濫觴記』私考(1)～(6)／小谷三志翁顕彰会第15回総会記念講演「欅の年輪に刻まれた明治・大正・昭和」／特別課題　私の写した古文書・金石文「鳩ヶ谷市内の金石に刻まれた歌と句」(1)～(3)／探訪余話　法性寺墓地の「ウハッキュウ」(1)(2)／拾欅　蜂ヶ谷日記　第1回～第3回／新刊紹介　3冊／新刊紹介　7冊／新刊紹介　平野清著『鳩ヶ谷年代記』／新刊紹介　半年間に到来12冊紹介／新刊紹介　半年間に到来17冊紹介／新刊紹介　半年間に到来17冊紹介／新刊紹介　川口・鳩ヶ谷・岩槻の本　9冊／新刊紹介　半年間に届いた本から9冊

◆秩父 山の民俗考古

小林茂著　言叢社（〒101-0065　東京都千代田区西神田2-4-1　東方学館本館　TEL03-3262-4827）2010年10月　A5　830頁　6800円

考古学・民具学・民俗学研究者として埼玉民俗の会会長なども務め、2009年9月にこの世を去った著者の『内水面魚論の民俗学』『秩父　山の生活文化』に続く著作集。暮らしの民具学にむけて（秩父の暮らしと文化についての随想(2)、父・據英と和銅遺跡顕彰のこと）／民俗･民具学と考古学のあいだで（「木の股」民具考、「自然の取り入れ」についての一考察、人類史とオオカミ、狼習俗と信仰についての断章、附・初期考古学論文三篇）／山のなりわい(生業)と伝承（秩父 山の狩猟と漁労、秩父 山の林業、秩父 山の手仕事）／山の民俗聞き書き（広瀬利之氏との往復書簡(抄)、秩父 山の民俗聞き書き—調査カードから）／小林茂略年譜／小林茂著作目録／本書の刊行について(小林道子)

◆江戸社会史の研究

竹内誠著　弘文堂（〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-7　TEL03-3294-4801）2010年10月　A5　190頁　3200円

序論　大都市江戸の柔軟性／江戸の地域社会と住民意識（下町と山の手の地域性、下町の地域性、近世深川の地域的特色、山の手の地域性）／江戸の美意識（江戸における「祭り」と「喧嘩」、江戸の美意識「いき」、江戸っ子と初鰹）／江戸社会の諸相（観光都市としての江戸、『江戸自慢』にみる江戸社会）

◆江戸大名のお引っ越し
居城引き渡しの作法

白峰旬著　新人物往来社（〒102-0083　東京都千代田区麹町3-2　相互麹町第一ビル　TEL03-3221-6031）2010年10月　B6　190頁　1400円

江戸時代における大名の改易・転封についての著者の論考をまとめる。改易処分による大名居城の受け取り・引き渡し（寛永九年の熊本城受け取り、寛文六年の宮津城受け取り、天和元年の高田城受け取り、元禄十年の津山城受け取り）／通常転封による大名居城の受け取り・引き渡し（吉田城の受け取りと引き渡し、正徳二年の古河城引き渡しと吉田城受け取り、天保七年の浜田城引き渡し、天保七年の棚倉城受け取り、慶応三年の白河城・棚倉城・川越城の受け取り・引き渡し）／江戸時代における大名家格と城郭（『土井寇讎記』における「居城」･「居所」表記）

◆貴重な資料を未来へ
—資料保存のためのハンドブック

特種東海製紙株式会社（〒104-0028　東京都中央区八重洲2-4-1　八重洲ビル6階　TEL03-3273-8516）2010年10月　A4　47頁　1000円

資料保存　基礎編（なぜ紙資料は劣化するのか？、紙資料の劣化事例、紙資料の保存対策は？、保護保存用紙　３つの条件、保存容器　６つの効果、保護紙　３つの特徴、保存用品　３つの特徴）／資料保存　実践編（酸性紙問題と欧米・日本の対応、資料保存の実践）／保護紙・保存用品製品紹介（保護紙の種類、保存用品の種類、保護紙の効果的な使い方、ＡＦシリーズ、アーカイバル容器）／資料保存のための100語　用語集

◆神道の言葉　大神宮文庫13

太田正弘編　東京大神宮社務所（〒102-0071　東京都千代田区富士見2-4-1　TEL03-3262-3566）2010年10月　新書判　104頁

東京大神宮の社頭で参拝者に栞として頒布されていた104葉の「言葉」を、解説とともにまとめた“神道要略集”。

◆地域史誌類目録2009
—非流通図書の集成と伝世

クオリ編・刊（〒176-0002　東京都練馬区桜台4-21-9-105　TEL03-3948-4407）2010年10月　B5　265頁　7400円

国立国会図書館の収集情報誌『日本全国書誌』から地方史誌と地方史に関係する非流通図書を摘出し、基本的な書誌情報を県別市町村順に配列して収録した、国立国会図書館への納本による他に類書のない地方史誌関係図書目録。1989年版『全国地方史誌関係図書目録』(1990年刊)から毎年一冊の刊行をつづけ、2008年版に改題した目録の21冊目となる。

◆千代田の幕末　150年前の世相と文化

千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊（〒102-0081　東京都千代田区四番町1　TEL03-3238-1139）2010年10月　A4　51+7頁

千代田区立四番町歴史民俗資料館の平成22年度特別展図録。桜田門外の変にはじまる変革の時代、万延・文久年間(1860～64)の地域・住民に注目して千代田の世相と文化を示す資料を紹介する。動乱の時代へ／世相と江戸社会／紀伊国屋長三郎と浮世絵師／資料編　千代田幕末マップ(万延・文久年間)／史料紹介

◆東京産業考古学会15年の歩み　1996～2010

東京産業考古学会編・刊（〒352-0011　埼玉県新座市野火止4-8-43　柚須紘一方）2010年10月　A4　43頁

1977年2月の産業考古学会設立をうけ、1996年2月に東京と周辺の近代化産業遺産の調査研究を目的として設立された東京産業考古学の15年の歩みをまとめる。創立15周年を迎えて(田口勇)／東京産業考古学会の始まりの頃(金子六郎)／第2代会長を担当して(菅野允)／質的転換への道(山下甫)／学会15年を振り返って(矢島不二男)／学会の将来に向けて(平井東幸)／赤煉瓦に魅せられて(八木司郎)／産業考古学会が面白くて30年(馬場永子)／資料編（東京産業考古学会の現況、役員等名簿、会則、東京産業考古学会の年表、会報掲載の記事等の目次）

◆民衆宗教を探る阿弥陀信仰

蒲池勢至著　慶友社（〒101-0051　東京都千代田区神保町2-48　TEL03-3261-1361）2010年6月　B6　218頁　2500円

プロローグ—浄土への幻想と現実／仏壇の阿弥陀如来と行事（真宗門徒の行事の阿弥陀如来、仏壇におけるもう一つの本尊）／往生と阿弥陀信仰（阿弥陀の浄土を求めて、臨終行儀と往生、見仏から名号へ）／阿弥陀絵像の民俗（阿弥陀絵像とオソウブツ、引導仏としての阿弥陀絵像、阿弥陀絵像の巡回、道場から寺院へ、仏壇へ）／エピローグ—日本人の阿弥陀信仰とは

◆中原街道
品川区立品川歴史館編・刊（〒140-0014　東京都品川区大井6-11-1　℡03-3777-4060）2010年10月　A4　122頁
品川区立品川歴史館の2010年度特別展の図録である。江戸城の南、虎ノ門から平塚にいたる中世以来の中原街道(中原道)。赤坂御門と沼津とを結ぶ矢倉沢街道(大山道)とともに流通の要路として重要な存在であった中原街道に関わるさまざな資料を通して、街道と“しながわ”地域の歴史を紹介する。中原街道とは／伝説のみち／将軍のみち／庶民のみち　物流のみち／品川と中原街道／中原街道を歩く／コラム（石川橋と石橋供養塔、地方の酢作り、東海道付替計画と中原街道、小杉御殿と東海寺、下大崎村の通行止め）／附録　釈文、村内を通る中原街道の呼び名と道幅、掲載資料目録、参考文献

◆文人町長と工業市街地化
　—寒川町制施行70周年記念誌 1940～2010
寒川町史編集委員会編　寒川町（〒253-0106　神奈川県高座郡寒川町宮山135-1　寒川町文書館　℡0467-75-3691）2010年11月　A4　35頁
寒川町制施行70周年を記念して、文学者でもあった初代町長　広田孝基と4代　真田喜一の事績を中心に、激動の時代における寒川町の歴史を振り返る。文人町長と工業市街地化—寒川町制70周年を振りかえって／寒川町の発足—軍需工場の進出と町制への波にさらされて／昭和18年「寒川町略図」を読む／戦時下の寒川町政／敗戦後の寒川町政—どのようにして文化町政が誕生したのか／グラフによる70年／歴代町長／寒川町年表(1889～2010)

◆割地慣行と他所稼ぎ
　—越後蒲原の村落社会史
中村義隆著　刀水書房（〒101-0065　東京都千代田区西神田2-4-1　東方学館本館　℡03-3261-6190）2010年2月　A5　240頁　3800円
越後の割地慣行（新潟平野における割地制度の歴史的展開、庄屋の主張する割地慣行の利点、越後蒲原地域における割地慣行の終焉）／越後蒲原地域と他所稼ぎ（蒲原地域にみる災害下の領主と百姓、近世越後蒲原地方の他所稼ぎ、間瀬大工の業績と会津地方での足跡、大正期西蒲原農漁村の動向—西蒲原郡岩室村を中心として）

◆東海の古城—信長の兄弟たち
　付・斎藤龍興伝　城と陣屋シリーズ255号
藤林明芳著　日本古城友の会（〒544-0005　大阪市生野区中川3-1-7　セントラルマンション２号館507号　尾原隆男方　℡06-6753-1890）2010年9月　B5　34頁
父信秀と勝幡城／庶長子信広と安祥城／庶兄秀俊と守山城／三男信長と古渡城／四男信勝と末森城／五男信包と西源院／六男信治と野府城／七男信興と小木江城／八男秀孝と明喜城／九男秀成と長島一揆／十男信照と中根南城／十一男長益と大草城／十二男長利と本能寺の変／謎の出生二人　阿弥陀寺開山・清玉上人、羽柴東郷侍従・長谷川秀一／信長の兄弟たち一覧／付・斎藤龍興伝

◆鈴渓義塾と溝口幹
　—付・鈴渓ゆかりの史跡解説
永田文夫著（〒479-0809　愛知県常滑市坂井字狭間1-1　℡0569-37-0088）2010年11月　B5　56頁
明治21年(1988)4月に盛田命祺によって創設された知多郡小鈴谷村の私塾「鈴渓義塾」の歴史と史跡、初代塾長・校長の溝口幹の生涯などについてまとめる。小鈴谷小学校区の傑出した人物／鈴渓学校・鈴渓義塾・鈴渓高等小学校と現在の小鈴谷小学校との関係／溝口幹の生涯、その年月日／鈴渓義塾・鈴渓高等小学校の通学圏—知多半島中南部の高等科設置状況をふまえて／鈴渓義塾関係の史跡めぐり(解説)／全体資料

◆光秀・亀山城・城下町
亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815　京都府亀岡市古世町中内坪1　℡0771-22-0599）2010年11月　A4　100頁
亀岡市制55周年と丹波亀山城築城400年を記念する第26回特別展図録。春～秋にかけて開催される三つのテーマをとおして、亀岡の歴史をたどる。口絵写真（絵図・肖像画・錦絵）／春の巻「明智光秀—時はよみがえる！光秀の実像—」／夏の巻「丹波亀山城—天空にそびえる五重天守！—」／秋の巻「丹波亀山城下町—町並みの記憶をたどる！—」／寄稿　亀山城下町絵図の景観年代—新収絵図を中心に(小林善仁)／第26回特別展出品資料目録／主な参考文献

◆史迹美術同攷会 創立八十周年を迎えて
史迹美術同攷会編・刊（〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入西大路町146　中西ビル内　℡075-462-4292）2010年11月　A5　44頁
昭和5年(1930)11月15日の『史迹と美術』第1号発刊から創立80周年を迎えた史迹美術同攷会の記念誌。創立80周年を迎えて（尼崎博正）／創立記念会一覧／創立記念会(第25回～第75回)及び例会・東京例会記念写真／会誌及び本会刊行物の写真／例会一覧（平成17年1月から22年11月まで)(本部)／新年宴会一覧(本部)他／創立記念会における表彰者名／各年例会出席者名(昭和54年以降)／主幹と歴代会長・副会長の写真／顧問・名誉会員など氏名／役員氏名／あとがき

◆幕末・維新期の大山崎
大山崎町歴史資料館編・刊（〒618-0071　京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3　大山崎ふるさとセンター内　℡075-952-6288）2010年10月　A4　40頁
大山崎町歴史資料館の第18回企画展の図録。禁門の変や鳥羽伏見の戦いなど、幕末の争乱に巻き込まれた大山崎地域の資料を通して激動の幕末・維新期を捉え直す。開国と尊皇攘夷／幕末の動乱と大山崎／明治新政府と地域社会の変動／釈文一覧／展示品一覧

◆関一の手帖　大阪市史史料75
大阪市史編纂所編　大阪市史料調査会（〒550-0014　大阪市西区北堀江4-3-2　大阪市立中央図書館内　℡06-6539-3333）2010年10月　A5　181頁　1800円
昭和48年(1923)から三期にわたり大阪市長を務めた関一(1873～1935)の日記・原稿・書簡・写真などの関一史料(811点)の中から、ベルギー・ドイツを中心とした留学日記(明治33年7月～34年12月)ほかを収録する。留学日記(日記、「サウスワーク」号上において)／大阪ノ現在及将来（大阪毎日新聞婦人見学団に対する挨拶、東京銀行倶楽部での高橋是清演説への意見、市長就任にあたっての訓示、国際産業上ノ覇権ト社会改造、後藤新平子爵来阪歓迎挨拶、故小山健三翁追悼会、阪仲輔君ニ返信、浜口雄幸蔵相歓迎会挨拶、地方財政論、我国経済ノ現状ト都市実業補習教育、第三回大阪市教化委員総集会挨拶、都市社会政策、都市制度に関する都市協会講演)／手帖（メモ　大正5～14年、メモ　大正14～昭和7)／解題（松岡弘之）

◆摂津 大坂城(15)—東六甲採石場城山刻印群と「十曜紋と一」の刻印」 城と陣屋シリーズ254
多賀左門著　日本古城友の会（〒544-0005　大阪市生野区中川3-1-7　セントラルマンション２号館507号　尾原隆男方　℡06-6753-1890）2010年4月　B5　23頁
はじめに／大坂城の石垣における細川家の刻印／城山刻印群における類似の刻印／大坂城の石垣から検出した「十曜紋と一」の刻印／

伏見廃城の石材にみられる「十曜紋と一」の刻印／大阪市中央区の出土石垣／瀬戸内、直島諸島井島の刻印残石／「十曜紋と一」の刻印と大名家について／小括／「あしや」論争について／あとがき

◆南方熊楠・小畔四郎往復書簡（三）［大正11年～大正12年］　南方熊楠資料叢書

南方熊楠顕彰会編　南方熊楠顕彰館（〒646-0035　和歌山県田辺市中屋敷町36　℡0739-26-9909）2010年10月　A5　182頁

南方熊楠と変形菌（真性粘菌）研究における協力者　小畔四郎との間でかわされた南方熊楠記念館所蔵の往復書簡のうち、大正11年（1922）・大正12年（1923）の95通と付録文書を翻刻収録する。南方熊楠・小畔四郎往復書簡大正十一年・十二年／書簡一覧・詳細目次／解題（田村義也）

◆近世・石見の廻船と鈩製鉄

郷土石見シリーズ5

児島俊平著　石見郷土研究懇話会（〒697-0034　島根県浜田市相生町2139-15　℡0855-22-2567）2010年9月　A5　310頁　3500円

石見郷土研究懇話会の機関誌『郷土石見』の連載をもとに、廻船と鈩製鉄から石見の歴史像を描く。近世・石見の廻船（銀山領の城米廻送と地船、藩御用船と船印、銀山領の千石船、銀山領仁万浦の客船帳、地船の航海技術と通航圏、山陰からみた「北前船」、浜田湊を探る、長浜湊を探る、三隅湊を探る、高津湊を探る、益田湊を探る、温泉津湊の石州瓦と印・伯州の交易、浜田湊を拠点とした地元廻船の動態）／近世・石見の鈩製鉄（石見鈩の源流、前期の産鉄と鉄穴、出羽流・備後流と天秤鞴、元禄の黄金時代、銀山領の産鉄・天秤鞴の碑、銀山領の廻船地図と鈩、浜田藩小鉄政策と東浦組の廻船、銀山領鉄山師と伯耆国の浜砂鉄、鉄貿易にみる石見船団の実像）

◆福山の遺跡100選

備陽史探訪の会創立30周年記念

備陽史探訪の会編・刊（〒720-0824　広島県福山市多治米町5-19-8　℡084-953-6157）2010年9月　A5　206頁　1500円

昭和55年（1980）9月に創設され、福山市を中心とした備後・山陽地方の歴史の発掘と啓蒙活動を続けている備陽史探訪の会の30周年記念出版。福山地域の主要100遺跡の概要などをわかりやすく紹介する遺跡ガイドブック。

◆後記

長く無人のままにしている生家（長野県辰野町）は、築150年前後と推定される。平屋造りで、上座敷、下座敷、中の間、部屋、茶の間、つき屋（風呂場に改造）、便所（外便所を母屋付に改造）、馬屋（小部屋に改造）、土間、中二階（桑置場）、別棟で二階建ての土蔵（味噌蔵付）からなる典型的な農家である。栗材の太い梁は、自然の湾曲のまま、釘一本打たれておらず、囲炉裏の煙で燻され、しっかりと保たれてきた。屋根は昭和30年頃までは、正目の板敷きで鉄平石を置いていた（トタン葺に改造）。農家と云えども上座敷は書院造りで、それなりの風情がある。しかし、自然石の上に置いただけの土台は沈み、ゆがみで障子も開かなくなった。加えて、雨漏りも酷くなって、天井や根太の傷みが急速に進み始めた。土蔵の白壁は疾うに落ちて、土壁が剥き出しになっている。最早限界が近づいていることは明らかである。特に土蔵は早目に取り壊さないと、母屋にも影響を与えそうである。しかし、家は建て直せても、風景は一度壊したら戻らない。村一番の小さな苫屋であるにせよ、この村の歴史の風景、記憶であったものを簡単に取り壊してしまっていいものか、思案に暮れている。（飯澤）

地方史情報 102　2011年（平成23年）3月　発行　http://www.iwata-shoin.co.jp
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院　〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　℡03-3326-3757